


Document Capture Pro Server Authentication Edition


システムインストール シヨンガイド


本書について

マニュアルの見方

マークの意味

 **注意** この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が怪我を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

 **重要** 必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

 **参考** 補足情報や参考情報を記載しています。

関連情報

➡ 関連したページにジャンプします。

掲載画面

機種や設定状況により画面の設定項目は異なることがあります。

オペレーティングシステム

Windows

本書では、以下のOS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows Server 2019」「Windows Server 2016」「Windows Server 2012 R2」「Windows Server 2012」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

- Microsoft® Windows Server® 2019 operating system
- Microsoft® Windows Server® 2016 operating system
- Microsoft® Windows Server® 2012 R2 operating system
- Microsoft® Windows Server® 2012 operating system

マニュアルで使用する用語の定義

本書では以下の用語を使用しています。

Document Capture Pro Server AE

Document Capture Pro Server AEはDocument Capture Pro Server Authentication Editionの略称です。

Document Capture Pro Server AEホストコンピューター

Document Capture Pro Server AEホストコンピューターはDocument Capture Pro Server AEをインストールしたサーバーコンピューターを指しています。

Web Config（デバイスのWebページ）

デバイスに内蔵しているWebサーバーです。Web Config（ウェブ コンフィグ）と表記しています。ネットワークからブラウザを使ってデバイスの情報確認や設定ができます。

デバイス

Document Capture Pro Server AEで使用するスキャナーまたは複合機を指します。ネットワークインターフェイスパネル/ネットワークインターフェイスユニットを使うスキャナーも含まれます。

目次

本書について	2
マニュアルの見方	2
マークの意味	2
掲載画面	2
オペレーティングシステム	2
マニュアルで使用する用語の定義	2

セットアップの概要 6

セットアップ手順	6
セットアップに必要なもの	7

1. デバイスの準備と情報確認 8

ハードウェア関連	8
Document Capture Pro Server AEホストコ ンピューター	8
デバイス（スキャナーまたは複合機）	10
クライアントコンピューター	10
登録情報確認	11
システム設定	11
スキャナー	12
認証装置	12
所属	12
ユーザー	12
使用するポート番号の情報	12

2. インストール環境の動作確認 13

必要なソフトウェア	13
必要なソフトウェアのインストール	13
デバイスの接続確認	14

3. デバイスの準備 16

動作確認用デバイスの設定	16
デバイスのサーバー設定	16
カードリーダーの接続	19

4. システムのインストール 21

インストーラーの起動	21
事前セットアップ	22
Document Capture Pro Server AEのイン ストール	24

5. システム設定、情報の登録 28

ログオン	28
初期設定画面	29
各項目の設定	29
SMTP サーバー設定	29
LDAP サーバー設定	31

6. 動作確認 35

デバイスとジョブの構成	35
デバイスを登録する	36
ジョブの登録	38
デバイスにジョブグループを割り当てる	44
ユーザーへのジョブの割り当て	46
認証カードの登録	47
ジョブの実行確認	49

7. 本運用前の準備 51

すべてのデバイスの登録	51
ジョブの作成	51
所属の設定	51
ユーザーの登録	53
ユーザーアカウントの登録	53
LDAP サーバーとの同期	54

アンインストールとアップデート 55

アンインストール	55
ログオン権限の確認	55

バックエンドサービスアプリケーションのアンインストール	55
Document Capture Pro Server 設定ファイルの削除	58
Web フロントエンドからのログアウトの確認	58
Web サイトの停止	58
Web フロントエンドをIIS から削除	59
Web フロントエンドの配置済みファイルの削除	59
スキャナードライバーのアンインストール	59
スキャナードライバー用PDF 機能拡張モジュールのアンインストール	59
Web サイトの再開	60
システムのアップデート	60

困ったときは 61

管理者ページやユーザーページが表示されない	61
カード認証ができない、認証が遅い	61
修復インストール	61
ジョブをリストアしたらユーザーや所属との関連が解除された	63
デバイスの操作パネルでジョブが表示されない	63
操作パネルにジョブが表示されるのに時間がかかる	63
ネットワークインターフェイスのメトリック値の確認	64
ネットワーク メトリック値の変更方法 (Windows)	64
パネルメッセージ	65

付録 67

カードリーダーの対応状況	67
インストールされる [役割] と [機能]	67
使用するポート	67
Windowsサービス、実行ファイル	69
Document Capture Pro Server AEの作業フォルダー	70
商標など	70
ご注意	70

セットアップの概要

セットアップ手順

本システムは以下の手順でセットアップします。

手順		作業概要	作業の目安 (分)
1	デバイスの準備と情報確認	<ul style="list-style-type: none"> Document Capture Pro Server AEホストコンピューターのハードウェア、ソフトウェア要件の確認 クライアントコンピューターのハードウェア、OS環境要件の確認 デバイス、カードリーダー、認証カード要件の確認 インストーラーの入手 サーバーの設定や登録情報などの確認と記録* 	60
2	インストール環境の動作確認	<ul style="list-style-type: none"> コンポーネントの確認 ファイアウォール、ポートの確認 デバイス、データベース、クライアントコンピューターの接続確認 	10
3	デバイスの準備	動作確認用デバイスの設定	5
4	システムインストール	インストーラーを使ったコンポーネント、システム本体のインストールと環境設定 SQL Serverをインストールする場合	30
		インストーラーを使ったコンポーネント、システム本体のインストールと環境設定 既存のSQL Serverを利用する場合	15
5	システム設定、情報の登録	各サーバーの設定	10
6	動作確認	<ul style="list-style-type: none"> デバイスの登録 ジョブグループ、ジョブの登録 ユーザーへのジョブの割り当て ジョブの実行確認 	15
7	システム運用前の確認	<ul style="list-style-type: none"> すべてのデバイスの登録 利用者の登録 通知メールの設定 	60

* 収集した情報を「セットアップ情報収集シート」（Excel ファイル）に記載すると、設定に必要な項目が網羅されているのでセットアップ作業をスムーズに行うことができます。

セットアップに必要なもの

設定には以下が必要です。

項目		説明
1	デバイス	Document Capture Pro Server AEの認証機能に対応しているデバイス
2	カードリーダー、認証カード (オプション)	デバイスにUSBで接続するカードリーダーと認証カード。 ユーザー認証にカードリーダーを使わない場合は不要です。
3	Document Capture Pro Server AE用ホストコンピューター	Document Capture Pro Server AEをインストールするコンピューターです。
4	データベースサーバー	Microsoft SQL Server 2014 Expressが同梱されていますので、Document Capture Pro Server AEホストコンピューターに新たに構築することもできます。
5	SMTPサーバー	メールでの通知に使用します。
6	管理者用コンピューター	Document Capture Pro Server AEを管理するコンピューターです。Document Capture Pro Server AEホストのWebページにアクセスします。セットアップでは1ユーザーのコンピューターとしても使用します。
7	Document Capture Pro Server AEインストーラー	Document Capture Pro Server AE本体のインストーラープログラムです。

1. デバイスの準備と情報確認

Document Capture Pro Server AEのシステムを構築するために必要なデバイスの情報や動作環境、設定情報などを確認します。

ハードウェア関連

Document Capture Pro Server AEホストコンピューター

本システムをインストールするサーバーのシステム要件、必要なコンポーネントです。

ハードウェア

最小システム

- CPU：2.1 GHz 以上のプロセッサ
- メモリー：4 GB以上
- ハードディスク：50 GB 以上の空き容量（データベース容量を除く）
- ディスプレイ：1280×1024 以上

- △ 注意**
- ドメインコントローラーを運用しているサーバーへはインストールできません。
 - マルチホーム環境には対応していません。ネットワークのアドレス解決ができない場合があります。

参考 ネットワークの通信速度やプリンター数、ユーザー数など、使用する環境に合わせてシステム構成を検討する必要があります。

オペレーティングシステム

以下のWindows Server Operating System のいずれかで動作している必要があります。

オペレーティングシステム	サービスパック	エディション
Windows Server 2012	-	Essentials / Standard / Datacenter
Windows Server 2012 R2	-	Essentials / Standard / Datacenter
Windows Server 2016	-	Essentials / Standard / Datacenter
Windows Server 2019	-	Essentials / Standard / Datacenter

参考 Windows Server 2016、Windows Server 2019は、オペレーティングシステムのインストール時に「デスクトップエクスペリエンス搭載サーバ」オプションを選択する必要があります。Windows Server 2012、Windows Server 2012R2の場合は本システムのインストール時にデスクトップエクスペリエンスをインストールできます。

1. デバイスの準備と情報確認

仮想環境での動作

以下の仮想環境でも動作しますが、環境によってパフォーマンスが低下することがあります。

- Hyper-V：動作するOS に対応したバージョン
- VMWare：vSphere Ver.4.1、5.5、6.0

必要なコンポーネント、ソフトウェア

- .NET Framework 4.5以降
Windows Server 2012以降に標準でインストールされています。
- Microsoft Web Deploy v3.6

Web サーバー

本システム内で動作するIIS（Microsoft Internet Information Services）の対応バージョンです。

オペレーティングシステム	バージョン
Windows Server 2012	8.0
Windows Server 2012 R2	8.5
Windows Server 2016、Windows Server 2019	10.0

データベースサーバー

対応しているデータベースサーバーです。

Microsoft SQL Server 2014 Express *
Microsoft SQL Server 2012
Microsoft SQL Server 2014
Microsoft SQL Server 2016

* ：本システムのパッケージに同梱されています。

SMTPサーバー

対応しているSMTPサーバーのセキュリティです。

セキュリティ	設定方法
認証方式	認証なし、SMTP認証、POP before SMTP
暗号化	暗号化なし、StartTLS、SMTP over TLS

ディレクトリサービス

ユーザーを管理しているLDAPサーバーと連携できます。対応しているサービスは以下の通りです。

1. デバイスの準備と情報確認

サービス名	バージョン
Active Directory	R2、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2016、Windows Server 2019
OpenLDAP	Ver.2.3、Ver.2.4

デバイス（スキャナーまたは複合機）

Document Capture Pro Server AE認証機能対応デバイス（スキャナーまたは複合機）

本システムで認証機能を使用するにはDocument Capture Pro Server AEの認証機能に対応したデバイス（スキャナーまたは複合機）が必要です。Document Capture Pro Serverに対応しているデバイス（スキャナーまたは複合機）は登録して対応したジョブを実行できますが、ユーザー認証、所属管理などの認証機能は使用できません。あらかじめデバイス（スキャナーまたは複合機）のネットワーク接続設定を終了しておいてください。設定方法はデバイス（スキャナーまたは複合機）のマニュアルをご覧ください。

カードリーダーと認証カード

動作確認済みのカードリーダーと認証カードの情報はこのマニュアルで確認できます。

関連情報

➡ [「カードリーダーの対応状況」67ページ](#)

クライアントコンピューター

本システムの管理者ページやユーザーページにアクセスするコンピューターです。

対応オペレーティングシステム

ディスプレイが1280×1024 以上で、対応ブラウザが動作する必要があります。

対応ブラウザ

 ブラウザーのCookie、JavaScript を有効にしてください。

ブラウザ	バージョン
Internet Explorer	9以降
Microsoft Edge	Ver.20以降
Google Chrome	Ver.49以降
Mozilla Firefox	45以降
Safari	6.x以降

登録情報確認

本システムのセットアップ作業を始める前にアカウントや接続するメールサーバーなどの情報を確認、決定しておきます。「セットアップ情報収集シート」(Excelファイル)を利用するとセットアップに必要な情報をまとめることができます。

システム設定

サーバーの設定やメールアドレスの取得などについては、それぞれのサーバー管理者へお尋ねください。

A-1 - Document Capture Pro Server AE サーバーログオン情報

本システムサーバーへのログオン情報です。アカウント情報はサービスの実行時と本システムの登録時に使用します。

A-2 - SQLサーバー設定情報

本システムがデータベースにアクセスするために使用します。セットアップ時にSQL Server をインストールする場合は不要です。

A-3 - Document Capture Pro Server AEのシステムアカウント情報

本システムの管理者アカウント情報です。Document Capture Pro Server AE のセットアップ時に管理者ページにアクセスするために使用します。

A-4 - SMTPサーバー設定情報

本システムがメールを送信するために使用します。

A-5 - LDAPサーバー設定情報

本システムがLDAP サーバーからユーザー情報を取得するために使用します。LDAP 連携を使用しない場合は不要です。

スキャナー

B-1 - デバイス情報

本システムで使用するデバイスの情報です。

認証装置

C-1 - 認証装置情報

認証システムで使用する認証装置（カードリーダー）の情報です。認証カード情報のカードの種類に対応した認証装置である必要があります。

C-2 - 認証カード情報

認証システムで使用する認証カード情報です。

所属

D-1 - 所属情報

本システムで利用するユーザーの所属情報です。LDAP サーバーと連携して管理するユーザーは記載不要です。

ユーザー

E-1 - ユーザー情報

本システムを利用するユーザーのアカウントです。LDAP サーバーと連携して管理するユーザーは記載不要です。

使用するポート番号の情報

Document Capture Pro Server AEが使用するポート番号の情報は付録で確認できます。

関連情報

➡ [「使用するポート」 67ページ](#)

2.インストール環境の動作確認

必要なソフトウェア

必要な以下のソフトウェアがコンピューターにインストールされているか確認します。

インストールされていない場合、Document Capture Pro Server AEのインストール中にエラー画面が表示されま

す。

- .NET Framework 4.5以降
- Microsoft Web Deploy 3.6

参考 Windows Server 2012以降は標準でFramework 4.5以降がインストールされています。

必要なソフトウェアの確認方法

1. [コントロールパネル] から [プログラム] - [プログラムと機能] を開きます。
2. プログラムの一覧を確認します。
一覧に必要なソフトウェアがエントリーされているか確認してください。
3. インストールされていない場合は、以下のMicrosoft社のWebサイトからインストーラーを入手します。
 - .NET Framework 4.6
<https://www.microsoft.com/en-US/download/details.aspx?id=48130>
 - Microsoft Web Deploy 3.6
<https://www.microsoft.com/en-US/download/details.aspx?id=43717>

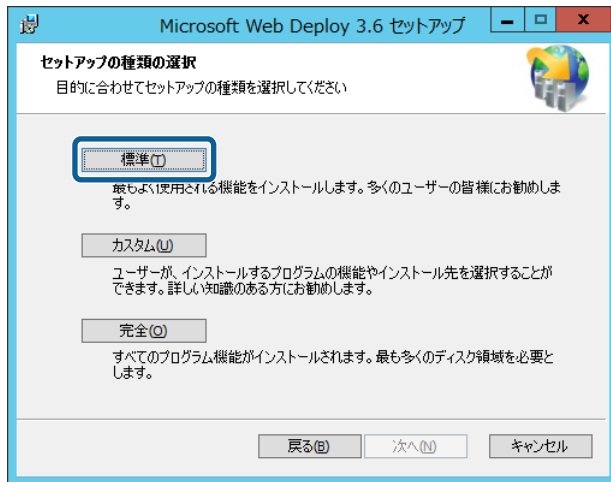
必要なソフトウェアのインストール

入手したインストーラーを起動して画面の指示に従い、必要なソフトウェアをインストールしてください。

！重要 Microsoft Web Deploy 3.6をインストールした場合、Window Server 2012、Window Server 2012 R2ではサーバーの再起動が必要です。

2.インストール環境の動作確認

参考 Web Deployで以下のような画面が表示された場合は、[標準] を選択します。



デバイスの接続確認

Document Capture Pro Server AEホストコンピュータとデバイスとの接続を確認します。接続はスキャナーに内蔵されているWebページ（Web Config）が表示されるかどうかで確認します。ブラウザのCookie、JavaScript を有効にしてください。

1. Document Capture Pro Server AEをインストールするコンピュータでInternet Explorerを起動します。
2. 以下のようにデバイスのIPアドレスを入力し [Enter] キーを押します。

http://192.0.2.111 （IP アドレスが192.0.2.111 の場合）

参考 SSL 通信（https）で管理者ログオンページにアクセスすると、「この Web サイトのセキュリティ証明書には問題があります。」の警告ページが表示されることがあります。（画面はInternet Explorerの例です。表示される画面はブラウザによって異なります。）
これはWeb サイトで自己署名証明書を利用してブラウザがSSL 暗号化通信を行おうとしているために起こります。「このサイトの閲覧を続行する（推奨されません）。」をクリックしてください。このエラーを表示しないためには、信頼された証明書を使用してください。



2.インストール環境の動作確認

3. Web Configの画面が表示されたら確認は終了です。ブラウザを閉じてWeb Configを終了します。

EPSON

製品情報

ログイン

情報確認

ネットワーク

製品情報

ネットワーク情報

使用状況

ハードウェア情報

製品情報

日本語

スキャナーステータス
使用できます。

認証装置ステータス: 非接続

Epson Connectステータス: 未登録

Firmware: 000.000.000.000

ルート証明書バージョン: 000.000

スキャナータイプ: シートフィードスキャナー

ネットワークのMACアドレス: 00:00:00:00:00:00

日付/時刻: 2021-09-03 10:36 UTC+00:00

管理者名/連絡先:

最新の状態へ更新

ソフトウェアのライセンス

参考

表示できない場合は以下を確認してください。

- デバイスの電源が入っているか
- ブラウザーのCookie、JavaScript が有効になっているか
- IPアドレスは正しいか

3. デバイスの準備

動作確認用デバイスの設定

本システムにデバイスを登録する前に、以下をデバイスに設定してください。

- デバイスのサーバー設定
- カードリーダーの接続（カードリーダーで認証する場合）

デバイスのサーバー設定

デバイスに本システムに接続するための設定を行います。

1. デバイスを本システムと同じネットワークに接続します。
接続方法はデバイスのマニュアルをご覧ください。
2. 管理者のクライアントコンピューターのブラウザでデバイスのIP アドレスを入力し、Web Configを起動します。
3. 「ログオン」（または「管理者ログオン」）をクリックし、パスワードを入力して詳細設定にログオンします。

EPSON 製品情報

情報確認 ネットワーク

製品情報

製品情報
ネットワーク情報
使用状況
ハードウェア情報

製品情報

日本語

スキャナーステータス
使用できます。

認証装置ステータス: 非接続

Epson Connectステータス: 未登録

Firmware: 000.000.000.000

ルート証明書バージョン: 000.000

スキャナータイプ: シートフィードスキャナー

ログオン

参考

管理者パスワード設定を行っていない場合は、製品のマニュアルを参照して設定してください。

3. デバイスの準備

4. [スキャン]（または[利用サービス]）> [Document Capture Pro] をクリックします。

EPSON 管理者 ログオフ

情報確認 スキャン ネットワーク ネットワークセキュリティ 本体セキュリティ デバイス管理

基本
ネットワークスキャン
Document Capture Pro
アドレス帳
ユーザー定義サイズリスト(入力原稿)
お気に入り
ユーザーデフォルト設定
»スキャンto ネットワークフォルダー 機能
»スキャンto メール 機能
»スキャンto USBドライブ 機能
»スキャンto クラウド 機能

基本

スキャン動作設定

超音波重送検知: ☐ オン ☒ オフ

重送検知時動作: 即時

原稿保護: オン(中感度)

ガラス面汚れ検知: オフ

原稿待ち受けモードのタイムアウト時間: 180秒

ローラー交換通知設定

通知枚数設定: 200,000

定期清掃通知設定

ワーニング通知設定: ☒ オン ☐ オフ

通知枚数設定: 5,000

5. 以下のように各項目を設定します。

- 動作モード:
[サーバーモード] を選択します。
- サーバーアドレス:
本システムをインストールするコンピューターを指定します。IPv4 形式、FQDN 形式、ホスト名で指定できます。

EPSON 管理者 ログオフ

情報確認 スキャン ネットワーク ネットワークセキュリティ 本体セキュリティ デバイス管理

基本
ネットワークスキャン
Document Capture Pro
アドレス帳
ユーザー定義サイズリスト(入力原稿)
お気に入り
ユーザーデフォルト設定
»スキャンto ネットワークフォルダー 機能
»スキャンto メール 機能
»スキャンto USBドライブ 機能
»スキャンto クラウド 機能

Document Capture Pro

動作モード: サーバーモード

グループ設定: 指定しない

サーバーアドレス: 192.0.2.100

次へ

3. デバイスの準備

認証設定が表示されている機種は [有効] を選択し、手順11へ進みます。

EPSON 設定ツール

管理者ログオフ

情報確認
製品情報
ネットワーク情報
パネルのスクリーンショット
メンテナンス情報
ハードウェア情報

設定
スキャナー設定
ネットワーク設定
ネットワークのセキュリティ設定
利用サービス
プロトコル
ネットワークスキャン
Document Capture Pro
システム設定
設定のエクスポート/インポート
管理者設定

利用サービス > Document Capture Pro

動作モード: サーバーモード

グループ設定: 指定しない

IPアドレス: 10.1.1.10

認証設定: ☒ 有効 ☐ 無効

(認証設定を有効にするときは、Document Capture Pro サーバーから、サーバー設定、認証装置設定をしてください。詳しくは認証システムのマニュアルをご覧ください。)

次へ

6. [次へ] をクリックします。
7. 設定内容を確認して [設定] をクリックします。
8. 少し時間を置いてからF5キーを押してWeb Configの表示を更新します。
9. [本体セキュリティ] > [基本設定] を選択します。

EPSON 設定ツール

管理者 ログオフ

情報確認 スキャン ネットワーク ネットワークセキュリティ **本体セキュリティ** デバイス管理

認証機能設定

基本

ユーザー設定
認証設定
スキャン to ネットワークフォルダー機能
ホーム画面編集
外部インターフェイス
パスワード暗号化
管理者パスワード変更

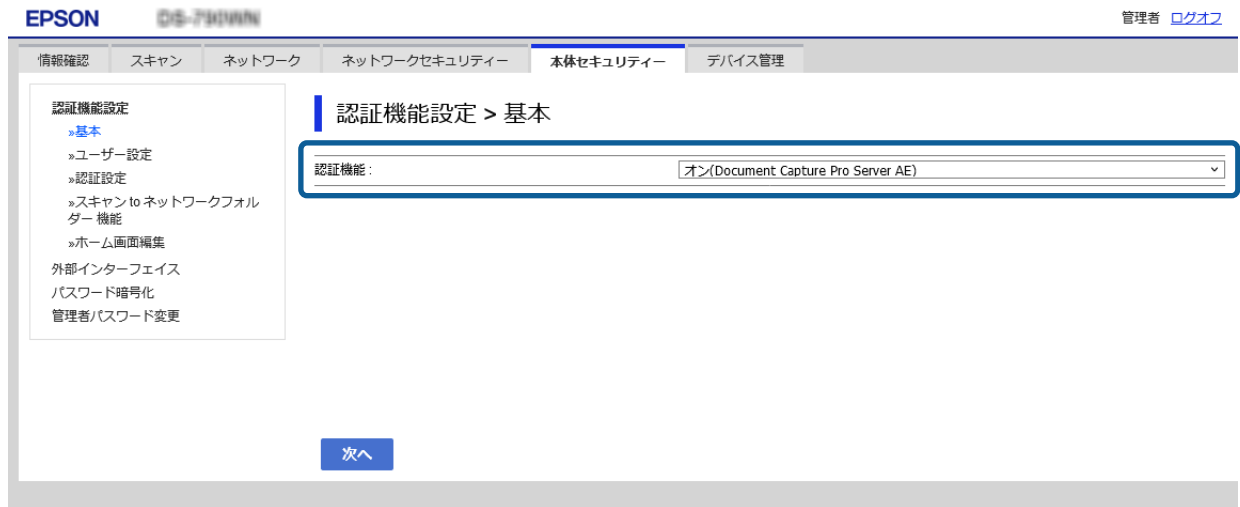
認証機能設定 > 基本

認証機能: オフ

次へ

3. デバイスの準備

10. [認証機能] で [オン(Document Capture Pro Server AE)] を選択します。

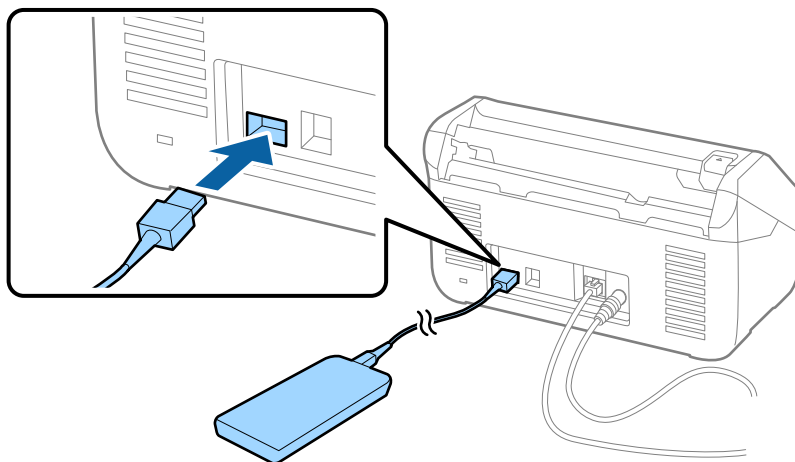


11. [次へ] をクリックします。
12. 設定内容を確認して [設定] をクリックします。
13. 少し時間を置いてからF5キーを押してWeb Configの表示を更新します。
製品情報画面が表示されたら終了です。

カードリーダーの接続

USB ケーブルを使ってデバイスにカードリーダーを接続します。以下はドキュメントスキャナーの例です。

1. USB ケーブルを使ってデバイスにカードリーダーを接続します。



3. デバイスの準備

2. デバイスの操作パネルから「設定」 - 「機器情報」をタップします。



3. 画面を上へフリックして「認証装置ステータス」が「接続」になっていることを確認します。



参考 Web Configの「情報確認」 - 「製品情報」 - 「認証装置ステータス」からも状態を確認できます。

4.システムのインストール

コンポーネントや本システムの本体をサーバーへインストールします。

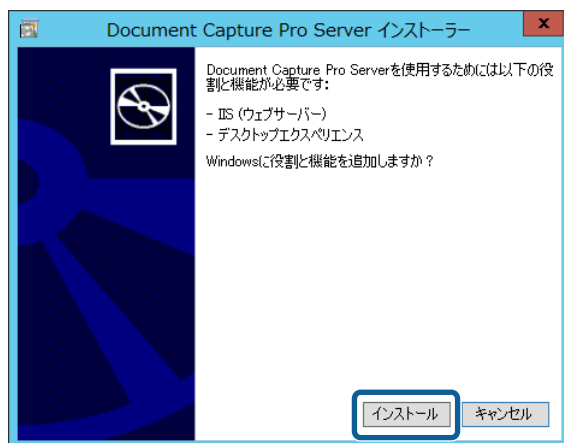
インストーラーの起動

初めてインストールする場合、事前セットアップでコンポーネントのインストールや設定を行います。
修復インストールの場合はスキップされます。

- △ 注意**
- インストールを始める前に、ウィルスチェックプログラムやアプリケーションソフトなどをすべて終了してください。実行しているソフトウェアがあると、インストールが正常に行われなかったことがあります。
 - IISのSSL3.0サポートが有効の場合、本体のインストールで無効に設定され、サーバーの再起動が要求されます。インストール後にサーバーを再起動したくない場合は、インストールを始める前にIISのSSL3.0サポートを無効に設定してください。
 - Windows Server 2016、Windows Server 2019は、オペレーティングシステムのインストール時に「デスクトップ エクスペリエンス搭載サーバ」オプションを選択する必要があります。
Windows Server 2012、Windows Server 2012R2は、本システムのインストールでWindows のデスクトップエクスペリエンスがインストールされます。その場合、サーバーの再起動が必要です。インストール後にサーバーを再起動したくない場合は、インストールを始める前にWindowsの「役割」と「機能」から「デスクトップエクスペリエンス」をインストールしてサーバーを再起動してください。

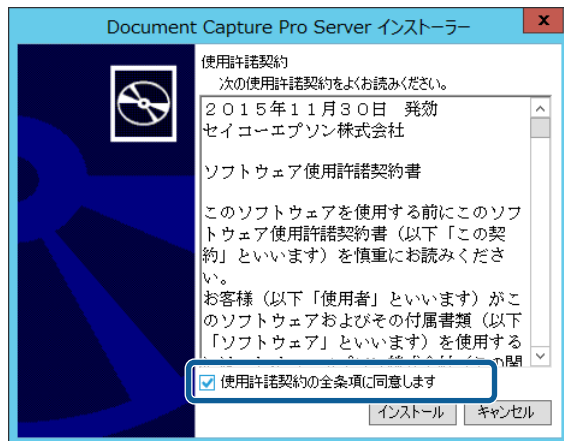
- 『A-1 -Document Capture Pro Server AEサーバーログオン情報』で決定したユーザー名とパスワードで、本システムをセットアップするサーバーへログオンします。
- Setup.exe をダブルクリックしてインストーラーを実行します。

参考 「役割」と「機能」がインストールされていないと、本システムのインストール中に以下のような画面が表示されることがあります。その場合、「インストール」をクリックして「役割」と「機能」をWindowsにインストールしてください。
デスクトップ エクスペリエンスをインストールした場合は、本システムのインストール後にサーバーの再起動が必要です。



4. システムのインストール

3. 使用許諾契約を確認し、[使用許諾契約の全条項に同意します] にチェックを入れます。



4. [インストール] をクリックします。

Document Capture Pro Server AEのインストールが始まります。
初回インストールの場合、事前セットアップ画面が表示されます。次項へ進んでください。
修復インストールの場合、Document Capture Pro Server AEのインストールに進みます。

関連情報

- ➡ [「Document Capture Pro Server AEのインストール」 24ページ](#)

事前セットアップ

参考 インストーラーを終了してコンピューターを再起動した場合、再起動後にSetup.exeをダブルクリックしてインストーラーを実行してください。

1. 使用するデータベースを指定し、[次へ] をクリックします。
 - [SQL Server 2014 Expressをインストールします] :
SQL Server 2014 Expressをインストールしてデータベースを構築する場合に選択してください。
 - [既存のSQL Serverを使用します] :
既存のSQL Serverを使用する場合に選択してください。

4.システムのインストール

参考 SQL Server 2014 Expressの新規インストールとデータベース構築には15分～ 20分程度の時間が必要です。



2. 手順1で選択したデータベースによって以下に進みます。

- 「SQL Server 2014 Expressをインストールします」 :
手順3に進みます。
- 「既存のSQL Serverを使用します」 :
以下を設定し「次へ」をクリックします。データベースサーバーへのアクセステストが行われます。

使用するSQL Serverインスタンスを指定します。	直接入力するか「参照」から選択してデータベースを指定します。
Authentication Subsystem で以前にインストールしたSQL Serverを使用する	Document Capture Pro Server AEで以前にインストールしたSQLサーバーを使用する場合に選択します。 以前使用したログインID、パスワードが使用されます。
お客様が用意したSQL Serverを使用する	既存のSQL Serverを使用する場合に選択してください。SQL ServerにアクセスするためのログインIDとパスワードを設定します。

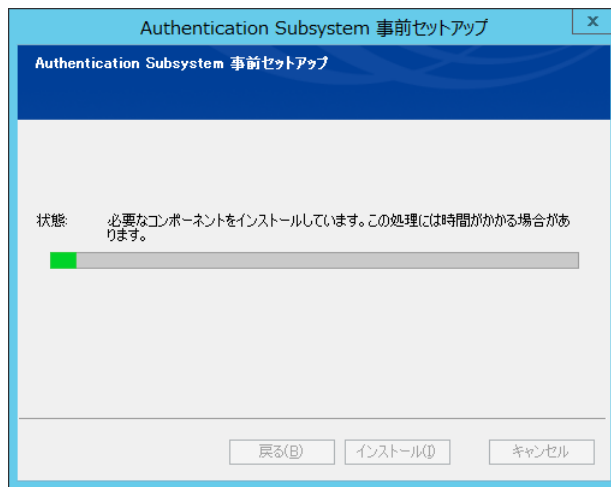


結果が表示されたら使用するSQL Serverを選択して「OK」をクリックします。

4.システムのインストール

3. 「次へ」をクリックします。

コンポーネントのインストールと設定が行われます。この操作はキャンセルできません。



参考

ここでは以下の設定が行われます。

- SQL Server 2014 Express のインストール(「新規SQL インストール」を選択した場合)
- メッセージ キュー(MSMQ)の有効化 (Windows機能)
- Microsoft Internet Information Services (IIS)の有効化 (Windows機能)
- 自己署名証明書の作成とバインド

関連情報

- ➔ [「Document Capture Pro Server AEホストコンピューター」 8ページ](#)
- ➔ [「Document Capture Pro Server AEのインストール」 24ページ](#)

Document Capture Pro Server AEのインストール

修復インストールの場合、インストーラーを起動するとこの手順から始まります。

参考

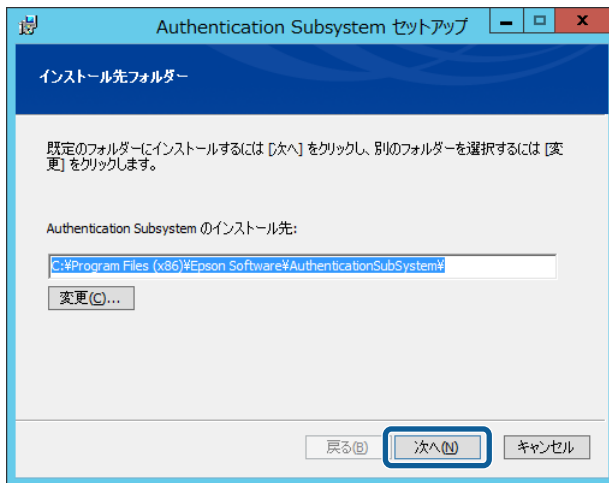
ここでは以下の設定やインストールが行われます。

- システムファイルのコピー
- ファイル、フォルダーのアクセス権限設定
- インストール環境に合わせたコンフィグファイルの設定
- レジストリへの登録
- Web アプリケーションの登録
- Windows サービスの登録
- ショートカットの登録
- MSMQ の登録
- データベースの作成
- ファイアウォールの設定
- IIS のSSL3.0 を無効に設定

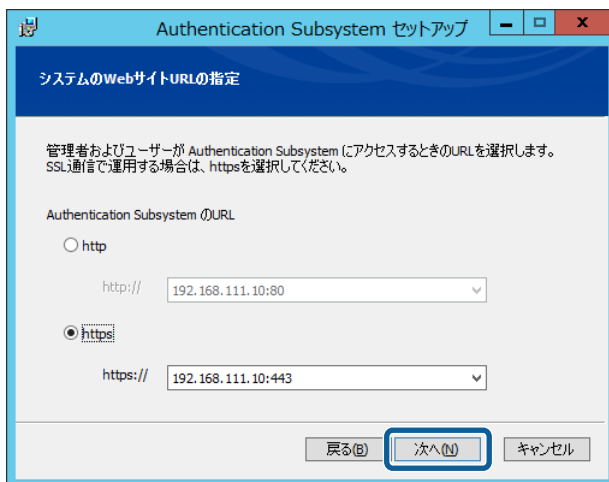
4. システムのインストール

1. 「次へ」をクリックします。

「変更」をクリックするとインストール先を変更できます。



2. 管理者ページ、ユーザーページのWeb サイトのアドレスを指定し「次へ」をクリックします。



3. 『A-3 - Document Capture Pro Server AEのシステムアカウント情報』で決定した管理者ID、パスワード、メールアドレスを入力して「次へ」をクリックします。

- システムID（管理者ID）：
1 ～ 256 文字で入力します。
英数字、記号類、スペースとラテン追加文字が使用できます。詳細は以下の表をご覧ください。
- パスワード：
1 ～ 128 文字で入力します。
英数字、記号類、スペースとラテン追加文字が使用できます。詳細は以下の表をご覧ください。
- メールアドレス：
本システムからのメールを受け取るメールアドレスを入力します。

使用できる文字

SP*	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/
-----	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

4.システムのインストール

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_
`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	
À	Á	Â	Ã	Ä	Å	Æ	Ç	È	É	Ê	Ë	Ì	Í	Î	Ï
Ð	Ñ	Ò	Ó	Ô	Õ	Ö	Ç	Ø	Ù	Ú	Û	Ü	Ý	Þ	ß
à	á	â	ã	ä	å	æ	ç	è	é	ê	ë	ì	í	î	ï
ð	ñ	ò	ó	ô	õ	ö		ø	ù	ú	û	ü	ý	þ	ÿ

* : 空白文字（スペース）

ここで作成した管理者アカウントはビルトインユーザーとして登録されます。

管理者アカウントのパスワード、メールアドレスは、システム運用後に変更できます。

4. システムのインストール

4. 「インストール」をクリックします。

インストールが始まり、プログレスメーターが表示されます。



5. 再起動を要求された場合は、サーバーを再起動します。
完了メッセージの画面が表示されたらインストールは終了です。
6. 「OK」をクリックします。

5.システム設定、情報の登録

管理者のクライアントコンピューターから、本システムと通信するサーバーやシステムの初期設定を行います。

ログオン

管理者のクライアントコンピューターから本システムにシステム管理者としてログオンして、各項目を設定します。

1. 管理者のクライアントコンピューターから、Document Capture Pro Server AEのインストール中に設定したWeb サイトにブラウザでアクセスします。

http://< 管理者ページWeb サイトのアドレス>/AuthSubSystemWeb/

または

https://< 管理者ページWeb サイトのアドレス>/AuthSubSystemWeb/

例（設定したWeb サイトのIP アドレスが192.0.2.123 の場合）：

http://192.0.2.123/AuthSubSystemWeb/

https://192.0.2.123/AuthSubSystemWeb/

- 参考**
- Document Capture Pro Server AE ホストコンピューターの場合はスタートメニュー - [Epson Software] - [Document Capture Pro Server AE] - [Document Capture Pro Server AE] を選択します。
 - JavaScript を有効にしてください。

2. 本システムのインストール中に設定した『A-3 - Document Capture Pro Server AEのシステムアカウント情報』のID とパスワードを入力し、ドメインは〔(ローカル)〕を選択します。



3. [ログオン] をクリックします。

ログオンすると初期設定画面が自動で表示されます。

⚠ 注意 正常に動作しない場合がありますので、[戻る] や [進む] などブラウザのナビゲーションボタンを使用しないでください。

初期設定画面

本システムに関連するシステムやスキャナーを設定します。設定が完了していないと、動作確認へ進めません。

参考 項目によっては、スキップボタンを押して設定を飛ばすことができます。

設定する項目は以下の通りです。

- SMTP サーバー設定
- LDAP サーバー設定



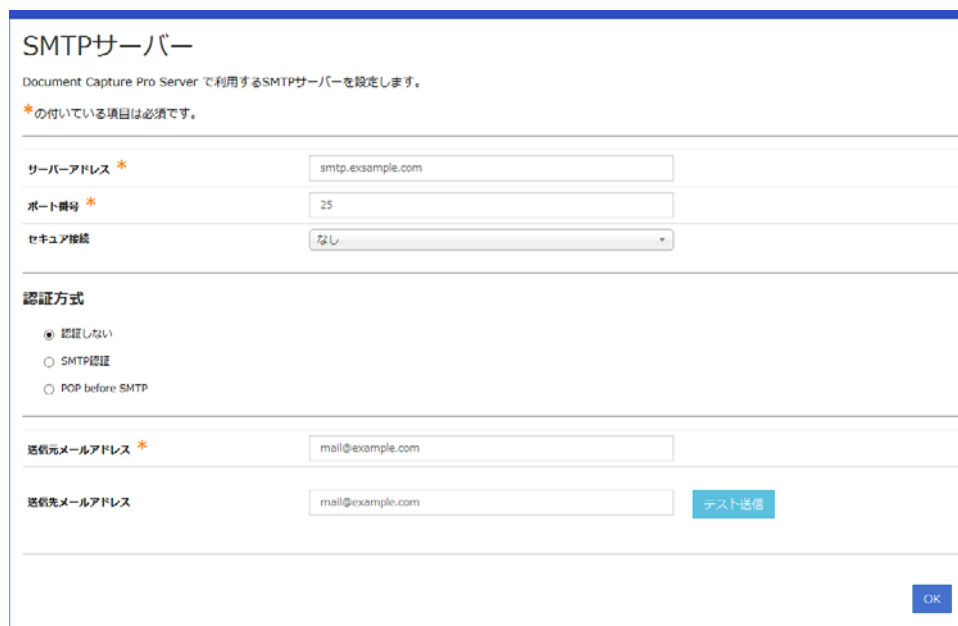
初期設定画面のスクリーンショット。左側には「SMTPサーバー」と「LDAPサーバー」の項目があり、右側にはそれぞれの説明が記載されています。SMTPサーバーの説明は「Document Capture Pro Server で利用するSMTPサーバーを設定します。」、LDAPサーバーの説明は「LDAP連携機能のON/OFFを設定します。ONにした場合は、LDAPサーバーの設定も行います。」です。右下には「完了」ボタンがあります。

各項目の設定

SMTP サーバー設定

本システムから管理者やユーザーへメールを送信するため、メール送信サーバーの設定を行います。

1. 初期設定画面の「SMTPサーバー」をクリックします。
2. 各項目を設定します。



SMTPサーバー設定画面のスクリーンショット。上部には「SMTPサーバー」と「Document Capture Pro Server で利用するSMTPサーバーを設定します。」のタイトルと説明があります。その下には「*の付いている項目は必須です。」という注意書きがあります。設定項目には「サーバーアドレス」（smtp.example.com）、「ポート番号」（25）、「セキュア接続」（なし）があります。次に「認証方式」のセクションがあり、「認証しない」が選択されています。下部には「送信元メールアドレス」（mail@example.com）と「送信先メールアドレス」（mail@example.com）の入力欄があり、「テスト送信」ボタンがあります。右下には「OK」ボタンがあります。

5.システム設定、情報の登録

以下を参考に設定してください。

項目	説明
サーバーアドレス	SMTP サーバーのIP アドレスまたはホスト名を253 文字以内で入力します。
ポート番号	SMTP サーバー（送信メールサーバー）のポート番号を0 ～ 65535 の数字で入力します。メーカー設定値は25 です。
セキュア接続	SMTP サーバーとの暗号化方式を [なし] 、 [SSL/TLS] 、 [STARTTLS] から選択します。
認証方式	SMTP サーバーの認証方式を選択します。選択した項目によって設定内容が異なります。 [SMTP認証] <ul style="list-style-type: none">• [アカウント] : SMTP 認証するためのログオンID です。255 文字以内で入力します。• [パスワード] : SMTP 認証のパスワードです。チェックボックスを選択すると入力できます。255 文字以内で入力します。 [POP before SMTP] <ul style="list-style-type: none">• [サーバーアドレス] : 受信サーバー (POP3サーバー) のIP アドレスまたはホスト名を255 文字以内で入力します。• [ポート番号] : 受信に使用するポート番号を0 ～ 65535 の数字で入力します。メーカー設定値は110 です。• [アカウント] : POP before SMTP 認証するためのログオンID です。255 文字以内で入力します。• [パスワード] : POP before SMTP 認証のパスワードです。チェックボックスを選択すると入力できます。255 文字以内で入力します。
送信元メールアドレス	メール送信元として表示されるアドレスを255文字以内で入力します。
送信先メールアドレス	テスト送信用の送信先のメールアドレスを入力します。 メーカー設定値は管理者アカウントのメールアドレスです。
テスト送信	テスト用送信先メールアドレスにテストメールが送信されます。
OK	設定がシステムに登録されます。

3. [テスト送信] をクリックします。

テスト用送信先メールアドレスにテストメールが送信されます。

送信に失敗した場合は、SMTPサーバーが動作していることや入力した設定に間違いがないか確認してください。

4. [OK] をクリックします。

初期設定画面に戻ります。

LDAP サーバー設定

LDAP サーバーと連携する場合に設定します。

LDAP サーバーで管理されているユーザーをDocument Capture Pro Server AEユーザーとして登録できます。

1. 初期設定画面の「LDAPサーバー」をクリックします。

2. 各項目を設定します。

LDAPサーバー

*の付いている項目は必須です。

同期 設定

LDAP接続 ☒ する ☐ しない

LDAPサーバーの種類 Active Directory

サーバーアドレス * 192.0.2.123

ポート番号 * 389

セキュア接続 なし

認証方式 PLAIN

ベースDN * DC=samplenet,DC=net

匿名認証 ☒ はい ☐ いいえ

管理者DN *

管理者パスワード * ☐ 編集

検索フィルター

ユーザー属性

ユーザーID * sAMAccountName

以下を参考に設定してください。

参考 LDAP サーバーで管理する組織単位（OU）や属性を所属として利用する場合、「所属の作成方法」を設定してください。

項目	説明
LDAP接続	LDAP サーバーと連携するかを設定します。
LDAPサーバーの種類	LDAP サーバーの種類を「Active Directory」、 「OpenLDAP」 から選択します。

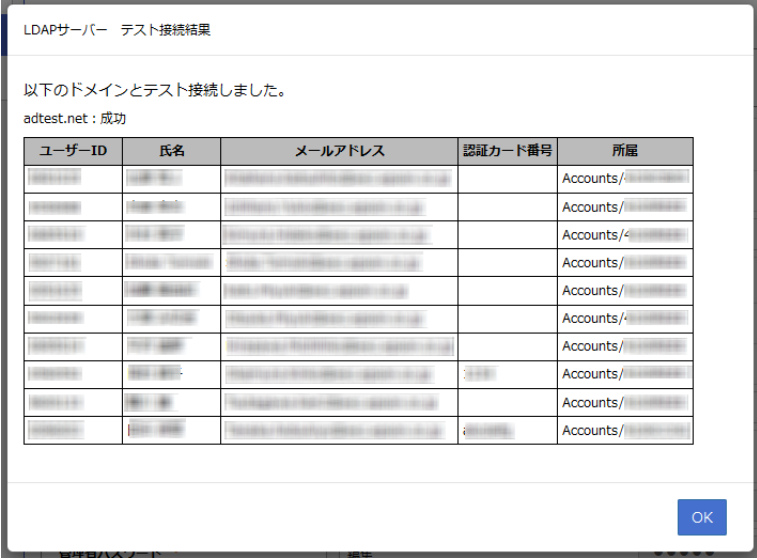
5.システム設定、情報の登録

項目	説明
サーバーアドレス	LDAP サーバーのIP アドレスまたはホスト名を255 文字以内で入力します。
ポート番号	LDAP サーバーとの接続時のポート番号を0 ～ 65535 の数字で入力します。
セキュア接続	LDAP サーバーとの暗号化方式を [なし] 、 [SSL/TLS] 、 [STARTTLS] から選択します。
認証方式	認証方式を [PLAIN] 、 [DIGEST-MD5] 、 [GSSAPI(Kerberos V5)] から選択します。
ベースDN	ディレクトリサービスの検索ベースの識別名を入力します。 入力例：DC = ldap, DC = xxx, DC = com
匿名認証	匿名認証で検索するかどうか選択します。
管理者DN	検索時に利用する管理者の識別名を入力します。 入力例：CN=myldap,OU=mySercice,DC=ldap,DC=xxx,DC=com)
管理者パスワード	検索時に利用する管理者のパスワードを入力します。 チェックボックスを選択すると入力できます。
検索フィルター	ユーザー情報を取得する際の検索条件を指定します。 入力例：cn=Epson Tarou employeeNumber>=1000 (&(cn=Tarou)(sn=Epson))
ユーザー属性	本システムの登録情報の属性 [ユーザーID] 、 [氏名] 、 [メールアドレス] 、 [認証カード番号] とLDAP サーバーの属性を関連付けます。 [ユーザー属性の選択] 画面から属性を選択します。 メーカー設定値はLDAP サーバーの種類によって異なります。
ユーザー属性の選択	[ユーザー属性の選択] 画面を開きます。
所属の作成方法	本システムの利用者属性の作成単位を選択します。LDAP の組織単位 (OU) を利用する場合、取得する階層を一緒に入力します。LDAP の属性を利用する場合は属性名を入力します。階層に0 を指定した場合は全階層が対象になります。
LDAPサーバーとユーザーを同期させる間隔	LDAP サーバーと本システムでユーザーの情報を同期する間隔を設定します。 初期設定画面からの初期設定では自動で同期しない設定から変更できません。設定を変更するには初期設定画面の設定項目が全て終了してから再度設定します。
接続テスト	LDAP サーバーへの接続確認テストを行います。
OK	設定がシステムに登録されます。

5.システム設定、情報の登録

3. 「接続テスト」をクリックしてLDAP サーバーへの接続、検索テストをします。

結果がLDAP 接続テスト画面に表示されます。表示されるのは「検索フィルター」設定で検索されたユーザーの一部です。



LDAPサーバー テスト接続結果

以下のドメインとテスト接続しました。
adtest.net : 成功

ユーザーID	氏名	メールアドレス	認証カード番号	所属
adtestnet	山田 太郎	adtestnet@adtest.net		Accounts/山田 太郎
adtestnet	山田 太郎	adtestnet@adtest.net		Accounts/山田 太郎
adtestnet	山田 太郎	adtestnet@adtest.net		Accounts/山田 太郎
adtestnet	山田 太郎	adtestnet@adtest.net		Accounts/山田 太郎
adtestnet	山田 太郎	adtestnet@adtest.net		Accounts/山田 太郎
adtestnet	山田 太郎	adtestnet@adtest.net		Accounts/山田 太郎
adtestnet	山田 太郎	adtestnet@adtest.net		Accounts/山田 太郎
adtestnet	山田 太郎	adtestnet@adtest.net		Accounts/山田 太郎
adtestnet	山田 太郎	adtestnet@adtest.net		Accounts/山田 太郎
adtestnet	山田 太郎	adtestnet@adtest.net		Accounts/山田 太郎

OK

4. 内容を確認したら、「OK」をクリックしてLDAP 接続テスト画面を閉じます。
5. 「OK」をクリックします。
6. 初期設定画面で「完了」をクリックします。



初期設定

- ☒ SMTPサーバー Document Capture Pro Server で利用するSMTPサーバーを設定します。
- ☒ LDAPサーバー LDAP接続機能のON/OFFを設定します。
ONにした場合は、LDAPサーバーの設定を行います。

完了

5.システム設定、情報の登録

管理者画面のダッシュボードが表示されます。

EPSON

Document Capture Pro Server

人

ダッシュボード ユーザー 所属 ジョブ管理 デバイス管理 レポート システム設定 メンテナンス ?

ダッシュボード

システム稼働状況

サーバステータス	稼働中
登録ユーザー数	1
登録スキャナー数	1
最終LDAP同期	未実施
最終バックアップ	成功 2021/09/01 18:15:09

製品情報

Document Capture Pro Server	バージョン 3.0.0.0
Authentication Subsystem	バージョン 2.0.0.0

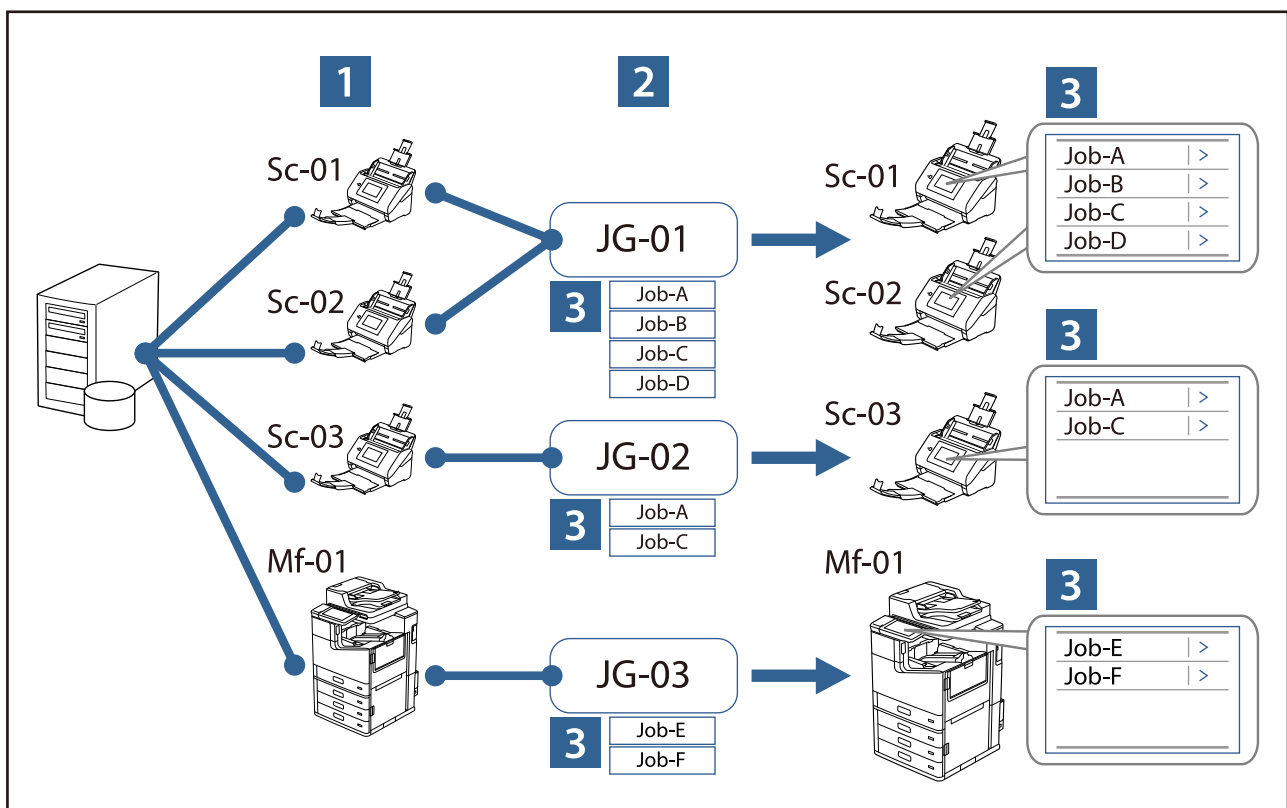
6.動作確認

認証カードを使用して本システムへログインし、スキャナーが動作することを確認します。

参考 Document Capture Pro Server AEホストコンピューターで動作確認を行うこともできます。その場合、「管理者のクライアントコンピューター」を「Document Capture Pro Server AEホストコンピューター」へ置き替えて設定を進めてください。

デバイスとジョブの構成

Document Capture Pro Server AEのデバイスとジョブのデータ構成は以下の通りです。



1 登録したデバイス	2 デバイスに関連付けたジョブグループ	3 パネルに表示されるジョブ (ジョブグループに関連付けたジョブ)
Sc-01 ドキュメントスキャナー	JG-01 (企画課ジョブグループ)	Job-A (PDFで保存してフォルダーに転送)
		Job-B (JPEGで保存してメールに添付)
Sc-02 ドキュメントスキャナー		Job-C (スキャン結果をプリンターに転送)
		Job-D (PDFで保存してウェブフォルダーに転送)

6.動作確認

1 登録したデバイス	2 デバイスに関連付けたジョブグループ	3 パネルに表示されるジョブ（ジョブグループに関連付けたジョブ）
Sc-03 ドキュメントスキャナー	JG-02（営業課ジョブグループ）	Job-A（PDFで保存してフォルダーに転送）
		Job-C（スキャン結果をプリンターに転送）
Mf-01 複合機	JG-03（庶務課ジョブグループ）	Job-E（JPEGで保存してメールに添付）
		Job-F（PDFで保存してウェブフォルダーに転送）

（ ）内は設定例です。

デバイスを登録する

1. 「[デバイス管理]」を選択します。
2. 「[スキャナーを追加]」をクリックします。

フィルター
以下の条件で絞り込みます。(表示する)

デバイス管理

スキャナーを追加

複製

削除

デバイスの設定

送信

更新

<input type="checkbox"/>	認証機能	スキャナー名称 ▲	設置場所	ドライバー	ジョブグループ	状態
--------------------------	------	-----------	------	-------	---------	----

選択件数：0
フィルター結果：0
総件数：0

1ページに表示する行数 10, 20, 50, 100

6.動作確認

3. 各項目を設定します。

スキャナーの追加

*の付いている項目は必須です。

基本設定

スキャナー名称 *	<input type="text" value="Scanner 1"/>	
設置場所	<input type="text"/>	
ドライバー	<input type="text" value="EPSON DS-780N"/>	
IPアドレスまたはホスト名称 *	<input type="text" value="192.168.111.16"/>	<button>接続テスト</button>
認証機能	<input checked="" type="checkbox"/>	
パスワード	<input type="password" value="*****"/>	

保存キャンセル

項目	説明
スキャナー名称	デバイスの名称を設定します。30 文字まで入力できます。 すでに登録されている名称は使用できません。
設置場所	必要に応じてデバイスの設置場所を入力します。
ドライバー	デバイス名を選択します。 編集・複製登録時はデバイス名を変更できません。
IPアドレスまたはホスト名称	IP アドレスまたはホスト名を入力します。
接続テスト	デバイスの接続テストをします。
認証機能	〔ドライバー〕で認証機能に対応した機種を選択した場合に表示されます。 デバイスで認証を行う場合は選択します。 〔パスワード〕にはデバイスに設定されている管理者パスワードを入力します。 管理者パスワードを設定していない場合は、空白のままにしてください。
パスワードで保護する	〔認証機能〕が無効の場合に表示されます。 選択すると、デバイスの操作パネルでジョブ選択画面に入る際にパスワードを求められます。
パスワード	認証パスワードを設定します。1～8 文字まで入力できます。使用できる文字は英数字 と以下の記号です。 !, @, #, \$, %, ^, &, *, (,), +, =, -, _ , /, \ （バックスラッシュ）、（スペース） 設定しない場合は、空白のままにしてください。

4. 〔接続テスト〕をクリックします。

〔接続テスト〕の横に〔成功〕が表示されたことを確認してください。

接続テスト 成功

6.動作確認

「失敗」が表示された場合は、以下を確認してください。

- デスクトップエクスペリエンスをインストールしたときにコンピューターを再起動したか
- デバイスの動作モード/スキャンモードの設定（サーバー設定）は完了しているか
- デバイ스에割り当てられたIPアドレスが正しく入力されているか
- 本システムが使用するポート番号がデバイスとサーバー間で通信可能か

5. 「保存」をクリックします。

「デバイス管理」画面に戻ります。

登録できない場合は、入力項目が正しいか確認してください。

関連情報

➡ [「デバイスのサーバー設定」16ページ](#)

ジョブの登録

デバイスのジョブをシステムに登録します。ここでは動作確認用にスキャン結果をフォルダーに保存するジョブを作成します。

ジョブ設定の詳細は『Document Capture Pro Server AEシステム管理者ガイド』をご覧ください。[?](#)をクリックすると起動できます。

1. メニューから「ジョブ管理」をクリックします。

「ジョブ管理」画面が表示されます。

2. 「ジョブグループの追加」をクリックします。

「ジョブグループの追加」画面が表示されます。

フィルター

以下の条件で絞り込みます。 [\(表示する\)](#)

ジョブ管理

ジョブ管理

ジョブグループの追加

複製

削除

	ジョブグループの名称	ドライバー	登録されたジョブ数	ジョブ一覧
選択件数 : 0				
フィルター結果 : 0				
総件数 : 0				

1ページに表示する行数 10, 20, 50, 100

6.動作確認

3. [ジョブグループの名称] に任意のジョブ名を入力します。

新規ジョブグループの追加

ジョブ管理 > 新規ジョブグループの追加

ジョブグループの名称

ドライバー

保存 キャンセル

4. [ドライバー] で接続するデバイスの製品名を選択します。

新規ジョブグループの追加

ジョブ管理 > 新規ジョブグループの追加

ジョブグループの名称

ドライバー

保存 キャンセル

5. [保存] をクリックします。
6. [ジョブの追加] をクリックします。

ジョブ一覧

ジョブ管理 > ジョブ一覧

ジョブグループの名称: ドキュメント用

ジョブの追加 転送先管理 複製 削除

<input type="checkbox"/>	#	ジョブ名称	原稿サイズ	解像度	イメージタイプ	保存形式	転送先
選択件数: 0 総件数: 0							

上へ 下へ スキャナーのパネルに表示する スキャナーのパネルに表示しない ジョブ管理に戻る

[ジョブの追加] 画面が表示されます。

6.動作確認

7. [ジョブ名称] に任意の名称を入力します。

ジョブの追加

ジョブ管理 > Job Group 2 > ジョブの追加

ジョブ名称 Job 1

ジョブの説明

☒ スキャナーのパネルにジョブを表示する

☒ スキャン前にジョブ内容を確認する

☐ 操作パネルでのジョブの設定変更を禁止する

ボタンアイコン

ジョブボタンの色 青

1. スキャン 2. 保存 3. インデックス 4. 転送

[ジョブ名称] に入力したジョブ名がデバイスのパネルに表示されます。

8. [1. スキャン] の各項目を設定します。

値を変更しなくても動作確認できます。

1. スキャン 2. 保存 3. インデックス 4. 転送

取込装置 ADF-片面

原稿サイズ 自動検知

イメージタイプ 自動

回転 なし

解像度 低解像度 (200dpi)

傾き補正 なし

☐ 文字くっきり

☐ 白紙ページ除去

☒ 重送検知

☐ スキャン終了後に確認画面を表示する

»

保存 キャンセル

9. [2. 保存] または [Next] をクリックします。

6.動作確認

10. [2. 保存] の各項目を設定します。

1. スキャン

2. 保存

3. インデックス

4. 転送

ファイル名の設定

ファイル名(例)

img20210902-151255_0001.pdf

ファイル名

'img' ×

日付・時刻 ×

'_' ×

ページカウンター ×

ファイル名の項目

ジョブ名

追加

ファイル名項目の設定

ジョブ名

コンピューター名

スキャナー名

ユーザー名

所属名

バーコード

OCR

日付・時刻


ページカウンター

任意の文字列

[ファイル名の項目]から[ジョブ名]を追加してください。

ジョブ名称Job 1

☐ ジョブ仕分けする

11. [3. インデックス] または  をクリックします。

6.動作確認

12. [3. インデックス] の各項目を設定します。

1. スキャン 2. 保存 **3. インデックス** 4. 転送

☒ インデックス機能を有効にする

保存単位: ジョブ

ファイル名(例): index20210902-152255_0001.csv

ファイル名: 'index' × 日付・時刻 × ' ' × ページカウンター ×

ファイル名の項目: [ファイル名の項目を選択してください] 追加

ジョブ名

- コンピューター名
- スキャナー名
- ユーザー名
- 所属名
- ファイル名
- 日付・時刻
- ページカウンター
- 任意の文字列

[ファイル名の項目から]ジョブ名]を追加してください。

ジョブ名称 Job 1

保存形式: CSV

☐ 上書き

13. [4. 転送] または ➡ をクリックします。

14. [転送先タイプ] から [フォルダー] を選択します。

1. スキャン 2. 保存 3. インデックス **4. 転送**

転送先タイプ: [転送先タイプを選択してください]

- FTP
- Eメール
- フォルダー**
- プリンター
- Microsoft(R) SharePoint Server
- Webフォルダー(WebDAV)

保存 キャンセル

6.動作確認

15. [転送先タイプ] から [[新規転送先]] を選択します。

1. スキャン 2. 保存 3. インデックス 4. 転送

転送先タイプ フォルダー

転送先

【転送先を選択してください】

【転送先を選択してください】

【新規転送先】

保存 キャンセル

16. 各項目を入力します。

[接続テスト] をクリックすると指定したフォルダーに転送できるかどうかを確認できます。

参考 ユーザー名はフルパスで入力してください。

- ドメインに参加する場合：{domain}/{ユーザー名}
 - ワークグループで運用している場合：{ホスト名}/{ユーザー名}
- ホスト名はIPアドレスで代用できます。

1. スキャン 2. 保存 3. インデックス 4. 転送

転送先タイプ フォルダー

転送先 【新規転送先】

設定名称 Folder 1

フォルダー \\server\share

ユーザー名

パスワード

☐ 上書きする

接続テスト

保存 キャンセル

接続テストに失敗する場合は、フォルダーのパスやアクセス権が正しく設定されているか確認してください。

6.動作確認

17. [保存] をクリックします。

[ジョブ一覧] 画面が表示されます。作成したジョブが登録されていることを確認してください。

ジョブ一覧

ジョブ管理 > ジョブ一覧

ジョブグループの名称: ドキュメント用

"PDFをフォルダーに保存"を追加しました。

ジョブの追加転送先管理複製削除

<input type="checkbox"/>	#	ジョブ名称	原稿サイズ	解像度	イメージタイプ	保存形式	転送先
<input type="checkbox"/>	1	PDFをフォルダーに保存	自動検知	低解像度 (200dpi)	自動	PDF	Folder 1 (フォルダー)

選択件数: 0
総件数: 1

上へ下へスキャナーのパネルに表示するスキャナーのパネルに表示しないジョブ管理に戻る

18. [ジョブ管理に戻る] をクリックします。

[ジョブ管理] 画面が表示されます。作成したジョブグループが登録されていて、[登録されたジョブ数] に作成したジョブの数が表示されていることを確認してください。

フィルター

以下の条件で絞り込みます。 [\(表示する\)](#)

ジョブ管理

ジョブ管理

ジョブグループの追加複製削除

	ジョブグループの名称 ▲	ドライバー	登録されたジョブ数	ジョブ一覧
<input type="checkbox"/>	ドキュメント用	EPSON DS-780N	1	<button>ジョブ一覧</button>

選択件数: 0
フィルター結果: 1
総件数: 1

1ページに表示する行数 10, 20, 50, 100

続けてジョブを作成する場合は、[ジョブ一覧] をクリックして手順6からの操作を繰り返します。

デバイスにジョブグループを割り当てる

登録済のジョブグループを各デバイスに割り当てます。
デバイス、ジョブグループ、ジョブは全て登録済という前提で説明します。

1. [デバイス管理] を選択します。

6.動作確認

2. 設定したいスキャナー名称のリンクをクリックします。

フィルター

以下の条件で絞り込みます。 [\(表示する\)](#)

デバイス管理

[スキャナーを追加](#) [複製](#) [削除](#) [デバイスの設定](#) [送信](#) [更新](#)

<input type="checkbox"/>	認証機能	スキャナー名称	設置場所	ドライバー	ジョブグループ	状態
<input type="checkbox"/>	✓	書類保存用スキャナー	受付	EPSON DS-780N	(割り当てなし)	Unknown

選択件数 : 0
フィルター結果 : 1
総件数 : 1

1ページに表示する行数 10, 20, 50, 100

3. [機器情報] タブをクリックします。

デバイスに接続されているカードリーダーの名称またはカードの形式を選択します。

スキャナーの編集

*の付いている項目は必須です。

スキャナー名称: 書類保存用スキャナー

[基本設定](#) [機器情報](#) [ジョブグループ](#)

認証装置

[保存](#) [キャンセル](#)

4. [ジョブグループ] タブをクリックします。

スキャナーの編集

*の付いている項目は必須です。

スキャナー名称: 書類保存用スキャナー

[基本設定](#) [機器情報](#) [ジョブグループ](#)

ジョブグループの名称

(割り当てなし)

[保存](#) [キャンセル](#)

5. プルダウンメニューからジョブグループを選択します。

6. 「保存」をクリックします。

デバイス管理画面に戻ります。

ユーザーへのジョブの割り当て

許可されたジョブのみ実行できるように、ユーザーにジョブを割り当てます。

割り当てたジョブがデバイスのパネルに表示されます。

ここでは動作確認のために、管理者のユーザーID を利用します。

1. 「ユーザー」 - 「ユーザー一覧」を選択します。

2. 設定したい「ユーザーID」のリンクをクリックします。

『A-3 - Document Capture Pro Server AE System account』で設定された「ユーザーID」を選択します。

フィルター

以下の条件で絞り込みます。 [\(表示する\)](#)

ユーザー一覧

新規登録 編集 削除 メール

<input type="checkbox"/>	ユーザーID	氏名	所属	権限	個人設定
<input type="checkbox"/>	admin	admin	未割当ユーザー	管理者	

選択件数 : 0
フィルター結果 : 1
総件数 : 1

表示件数 : 10, 20, 50, 100

3. [ジョブの割り当て] タブをクリックします。

ユーザー編集

*の付いている項目は必須です。


ユーザーID : 00018
所属 : 未割当ユーザー

基本情報 **ジョブ割り当て**

ユーザーID	00018	
ドメイン名	(ローカル)	
氏名 *	ユーザー	
所属	未割当ユーザー	所属の変更
主に利用する認証カードID		
認証カード情報		
テンポラリー認証カードID		
<input checked="" type="checkbox"/> メールアドレスを利用する		
メールアドレス *	example@epsonnet.com	
権限	ユーザー	

OK キャンセル

4. プルダウンメニューからジョブグループを選択します。

5. 割り当てるジョブを選択して  をクリックします。

参考 必要に応じて [状況確認] をクリックすると、ジョブ割り当て状況を確認できます。

6. [OK] をクリックします。

7. 確認画面で [OK] をクリックします。

ユーザー一覧画面に戻ります。

認証カードの登録

カードリーダーを使ったユーザー認証を行う場合のみ行ってください。

認証カードを登録し、認証装置の動作を確認します。

注意 デバイスに接続するカードリーダーは、認証カードを認証したカードリーダーと同じ型番の製品を使用してください。
カードリーダーの種類が異なるとログインできないことがあります。

6.動作確認

1. デバイスに接続されている認証装置に認証カードをかざします。

デバイスの操作パネルに登録の案内画面が表示されます。

ようこそ

認証カードをかざすかユーザーIDとパスワードを入力してください。

ユーザーIDとパスワード

参考 デバイスが省電力モードになっていると、認証カードの認識に時間がかかることがあります。その場合は、再度認証カードをかざしてください。

2. 「登録する」をタップします。

閉じる 案内

認証カードの登録が必要です。
IDとパスワードを入力して登録してください。登録しますか？

登録する

3. デバイスの操作パネルで『A-3-Document Capture Pro Server AEのシステムアカウント情報』のID とパスワードを入力し、ドメインから「[ローカル)」を選択します。

閉じる カード登録

ユーザーID

admin

パスワード

登録する

4. 「登録する」をタップします。

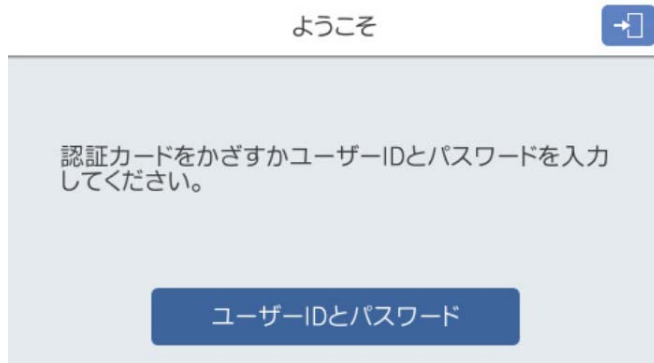


認証が行われ、登録完了画面が表示されます。

ジョブの実行確認

設定したジョブが実行できるか確認します。

1. デバイスにスキャンする原稿をセットします。



2. 以下のいずれかでデバイスにログオンします。
 - カードリーダーに、登録した認証カードをかざす

6.動作確認

- [ユーザーID]、[パスワード]を入力して、ドメインに[(ローカル)]を選択して、[ログオン]をタップする

閉じる 認証情報入力

ユーザーID

admin

パスワード

ログオン

3. 登録したジョブ名称をタップします。

割り当てたジョブが1つだけの場合は、ジョブ選択画面は表示されません。次の手順に進みます。

4. [開始] をタップします。



スキャンが始まります。

スキャンした結果が設定した場所に保存されていることを確認してください。

7.本運用前の準備

本運用のために必要な設定をします。この設定は管理者のクライアントコンピュータから行います。

参考 Document Capture Pro Server AEホストコンピュータでも設定できます。その場合、「管理者のクライアントコンピュータ」を「Document Capture Pro Server AEホストコンピュータ」へ置き替えて設定を進めてください。

すべてのデバイスの登録

導入する全てのデバイスを登録します。

1. 登録するデバイスをネットワークに接続します。
2. 管理者のクライアントコンピュータからデバイスのWeb Configを起動します。
3. [利用サービス] - [Document Capture Pro] から本システムへの接続設定を行います。
4. 必要に応じてデバイスにカードリーダーを接続します。
5. 管理者ページにログオンし、[デバイス管理] からデバイスの登録と情報の編集をします。
6. 上記の手順を繰り返して全てのデバイスを登録します。

関連情報

- ➡ [「動作確認用デバイスの設定」16ページ](#)
- ➡ [「デバイスを登録する」36ページ](#)
- ➡ [「デバイスにジョブグループを割り当てる」44ページ](#)

ジョブの作成

運用に必要なジョブグループ、ジョブを作成しておきます。ジョブ設定の詳細は『Document Capture Pro Server AE システム管理者ガイド』をご覧ください。

所属の設定

所属には[未割当ユーザー]がメーカー設定で登録されます。[未割当ユーザー]を編集してジョブを割り当てておくと、その後から新規登録する所属に設定値がコピーされます。
LDAPサーバーとの同期の前に設定しておく、LDAPサーバーと連携して管理しているユーザーの所属にも適用されません。

7.本運用前の準備

1. メニューから「所属名」を選択します。

管理者ページにログオンしていない場合は、『A-3-Document Capture Pro Server AE』のアカウントでログオンしてください。

2. 所属一覧画面の「所属」から「未割当ユーザー」をクリックします。

フィルター

以下の条件で絞り込みます。 [\(表示する\)](#)

所属一覧

[新規登録](#) [削除](#)

<input type="checkbox"/>	所属名	ドメイン名	ユーザー数	状態
<input type="checkbox"/>	未割当ユーザー	(ローカル)	1	New

選択件数 : 0
フィルター結果 : 1
総件数 : 1

表示件数 : 10, 20, 50, 100

3. 「ジョブの割り当て」タブをクリックします。

所属編集

*の付いている項目は必須です。

所属 : 未割当ユーザー

[基本情報](#) [ジョブ割り当て](#)

ジョブグループ
(未指定)

ジョブ
PDFをフォルダーに保存(ドキュメント用)


有効なジョブ

→

←

状況確認

OK キャンセル

4. 「ジョブグループ」でジョブグループを選択します。
5. 「ジョブ」から有効にしたいジョブを選択し  をクリックします。

参考 「状況確認」をクリックすると「有効なジョブ」にあるジョブと関連付けてあるスキャナーの名前を確認できます。

6. 「OK」をクリックします。

7. 登録完了メッセージで [OK] をクリックします。

ユーザーの登録

運用を始める前に、ユーザーを本システムに登録します。

本システムに直接登録する方法と、LDAP サーバーで管理しているアカウントをユーザーとして登録する方法があります。

ユーザーアカウントの登録

本システムに直接ユーザーに登録します。

ユーザーが多い場合、CSV ファイルを使って一括で登録することができます。詳細は『Document Capture Pro Server AEシステム管理者ガイド』をご覧ください。

1. メニューから [ユーザー] を選択します。

管理者ページにログオンしていない場合は、『A-3 - Document Capture Pro Server AEのシステムアカウント情報』のアカウントでログオンしてください。

2. [新規登録] をクリックします。

3. それぞれの項目を設定します。

ユーザー登録

*の付いている項目は必須です。

ユーザーID : 新規
所属 : 未割当ユーザー

基本情報

ジョブ割り当て

ユーザーID *	<input type="text"/>
ドメイン名	(ローカル)
氏名 *	<input type="text"/>
所属	未割当ユーザー 所属の変更
主に利用する認証カードID	<input type="text"/>
認証カード情報	
テンポラリー認証カードID	<input type="text"/>
<input checked="" type="checkbox"/> メールアドレスを利用する	
メールアドレス *	<input type="text"/>
権限	ユーザー

OKキャンセル

各項目の詳細は『Document Capture Pro Server AEシステム管理者ガイド』をご覧ください。

4. [OK] をクリックします。

LDAP サーバーとの同期

LDAP サーバーで管理しているアカウントをユーザーとして登録する場合、LDAP サーバーと本システムのサーバーを同期します。

1. [システム設定] - [LDAPサーバー] を選択します。

管理者ページにログオンしていない場合は、『A-3 - Document Capture Pro Server AEのシステムアカウント情報』のアカウントでログオンしてください。

2. [同期] タブを選択し [実行] をクリックします。

同期が始まり、同期結果が表示されます。



LDAPサーバー

*の付いている項目は必須です。

同期 設定

LDAPドメイン名 : adtest.net

同期ログ :

同期日時	自動/手動	結果
2017/02/28 10:58:41	手動	成功

手動同期を行う :

3. [OK] をクリックします。

アンインストールとアップデート

アンインストール

ログオン権限の確認

Administrators 権限のあるユーザーでログオンしていることを確認してください。

バックエンドサービスアプリケーションのアンインストール

アンインストールする前に必要なデータや設定をバックアップしてください。

詳細は『Document Capture Pro Server AEシステム管理者ガイド』をご覧ください。

システムをアンインストールするときは、以下のプログラムを2 つともアンインストールしてください。

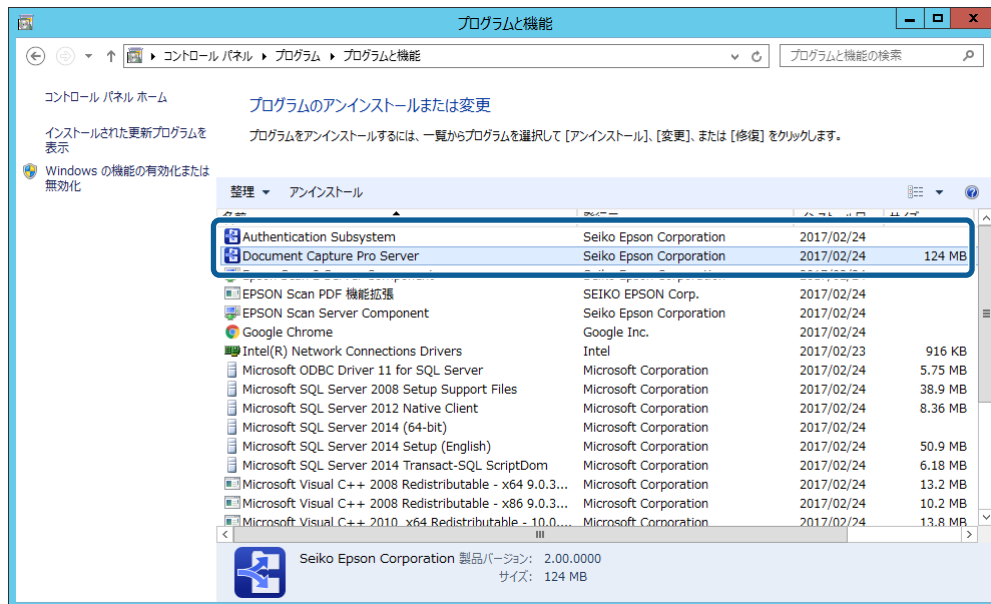
- Authentication Subsystem
- Document Capture Pro Server

参考

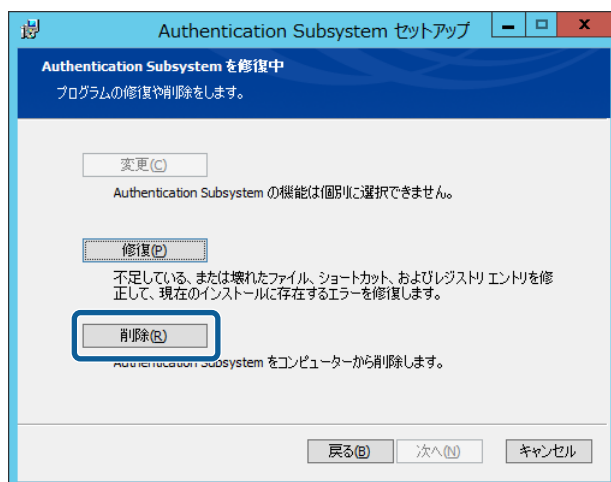
- 以下のソフトウェア、コンポーネントはアンインストールしません。
 - .NET Framework
 - SQLサーバー
 - Microsoft Web Deploy
 - デスクトップ エクスペリエンス
- 以下のソフトウェア、コンポーネントは、本システムが使用したファイルやデータのみ削除します。
 - メッセージ キュー(MSMQ)
 - Microsoft Internet Information Services (IIS)

1. 管理者でDocument Capture Pro Server AEホストコンピューターにログオンします。
2. [コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール] - [プログラムと機能] を開きます。

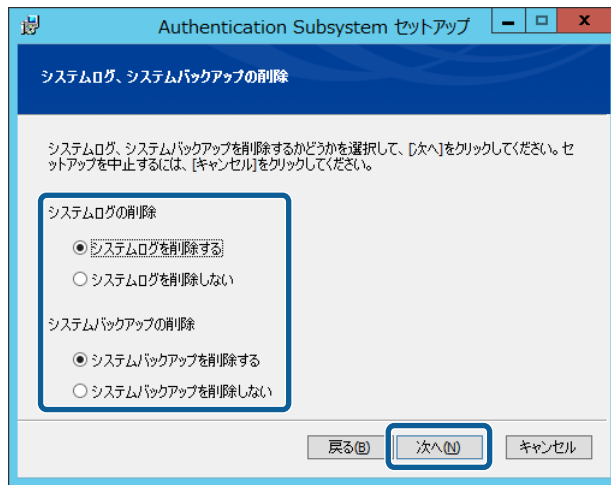
- Document Capture Pro Serverを選択し、[アンインストール] をクリックします。



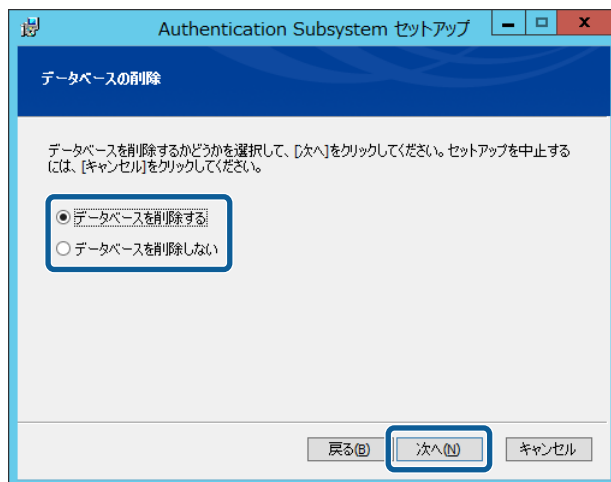
- 画面の指示に従って操作を進めます。
- 次に [Authentication Subsystem] を選択し、[アンインストール] をクリックします。
- 画面の指示に従って操作を進めます。
- [削除] をクリックします。



8. システムログやシステムバックアップを削除するか選択し、[次へ] をクリックします。



9. データベースを削除するか選択し、[次へ] をクリックします。

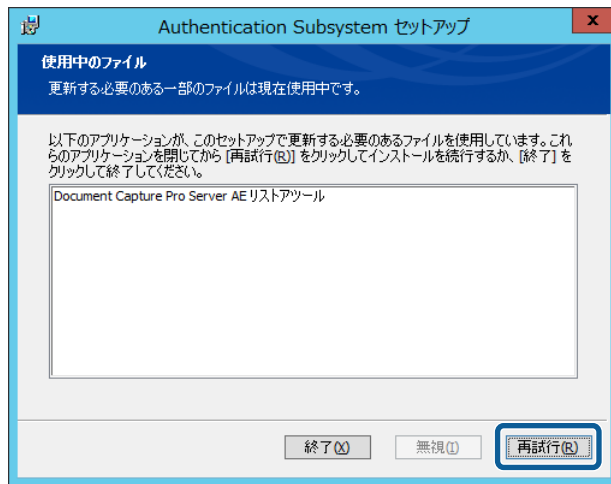


10. [削除(R)] をクリックします。

アンインストールが始まります。



⚠ 注意 アンインストールで削除するファイルが使用されている場合、以下の画面が表示されます。ソフトウェアを閉じてから [再試行] をクリックします。



11. [閉じる] をクリックします。

Document Capture Pro Server 設定ファイルの削除

以下のパスのフォルダーを削除します。

%SystemDrive%\ProgramData\Epson\DCPS

Web フロントエンドからのログアウトの確認

アンインストール後、再び Document Capture Pro Server を同一コンピューターに配置する場合は、ユーザーがログアウトしていることをご確認ください。

ログアウトを確認しなかった場合は、Web サイトの停止後、再配置時の配置コマンドを実行するまで30 分間以上時間を空けてください。

Web サイトの停止

1. [管理ツール] で、[インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー] をクリックして IIS マネージャを起動します。
2. 左ペインでサーバーのコンピューター名をクリックして展開します。
3. [サイト] ディレクトリを展開して、Document Capture Pro Server を配置した Web サイトの名前（通常は [既定の Web サイト]）を右クリックし、[Web サイトの管理] を選択して、[停止] をクリックします。

Web フロントエンドをIIS から削除

1. IIS マネージャを起動します。
2. 左ペインでサーバーのコンピューター名をクリックして展開します。
3. [Webサイト] ディレクトリを展開して、Document Capture Pro Serverを配置したWebサイトの名前（通常は[既定のWebサイト]）を展開し、Document Capture Pro Server のフォルダを右クリックして、[削除] をクリックします。
4. 確認画面が表示されたら [はい] をクリックします。

Web フロントエンドの配置済みファイルの削除

1. IIS マネージャを起動します。
2. 左ペインでサーバーのコンピューター名をクリックして展開します。
3. [Webサイト] ディレクトリを展開して、Document Capture Pro Server を配置したWeb サイトの名前（通常は[既定のWebサイト]）を右クリックし、[エクスプローラー] をクリックします。
4. 新しく開いたウィンドウの中にあるDocument Capture Pro Server を配置したフォルダを削除します

スキャナードライバーのアンインストール

1. [コントロールパネル] から [プログラムと機能] を開きます。
2. [EPSON Scan Server Component] を選択し [Change/Remove] をクリックします。
3. 画面の指示に従って操作を進めます。
4. [Epson Scan 2 Server Component] を選択し [Change/Remove] をクリックします。
5. 画面の指示に従って操作を進めます。

スキャナードライバー用PDF 機能拡張モジュールのアンインストール

1. [コントロールパネル] から [プログラムと機能] を開きます。
2. [EPSON Scan PDF 機能拡張] にチェックを付けて [アンインストール] をクリックします。
3. 画面の指示に従ってウィザードを進めます。

Web サイトの再開

1. [管理ツール] で、[インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー] をクリックして IIS マネージャを起動します。
2. 左ペインでサーバーのコンピューター名をクリックして展開します。
3. [サイト] ディレクトリを展開して、Document Capture Pro Server を配置したWeb サイトの名前（通常は [既定のWebサイト] ）を右クリックし、[Webサイトの管理] を選択して、[開始] をクリックします。

システムのアップデート

機能・品質改善等を目的に製品のアップデートを行うことがあります。アップデート版のインストール指示に従ってアップデートしてください。

困ったときは

管理者ページやユーザーページが表示されない

以下を確認してください。

- 使用しているブラウザのCookie の受け入れが有効になっているか
- JavaScript が有効になっているか
- [システムエラーが発生しました。] と表示される場合は、サービスが正常に動作しているか確認してください。

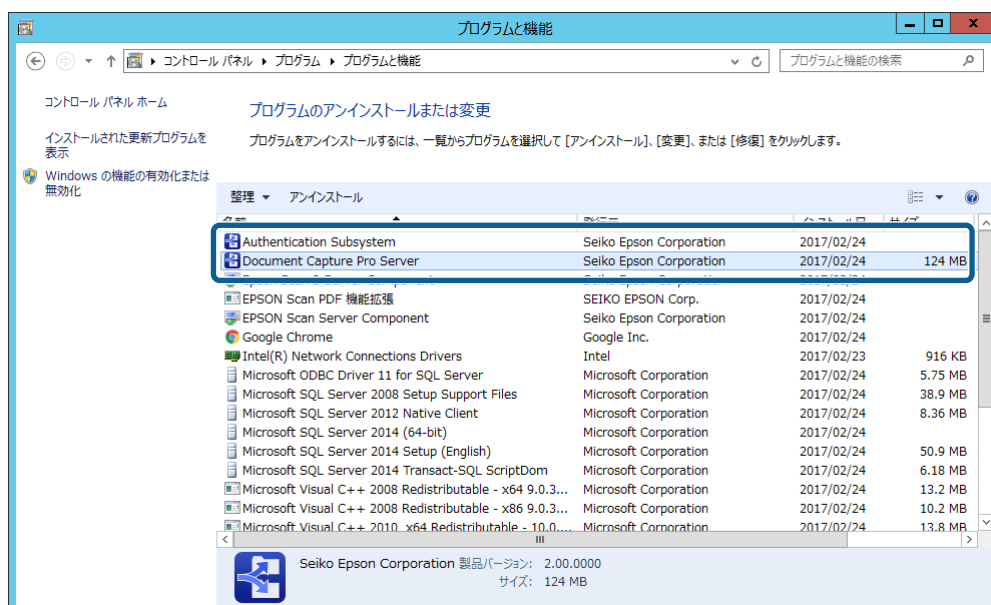
カード認証ができない、認証が遅い

Document Capture Pro Server AEホストコンピューターのプロキシ設定が正しいかを確認してください。

修復インストール

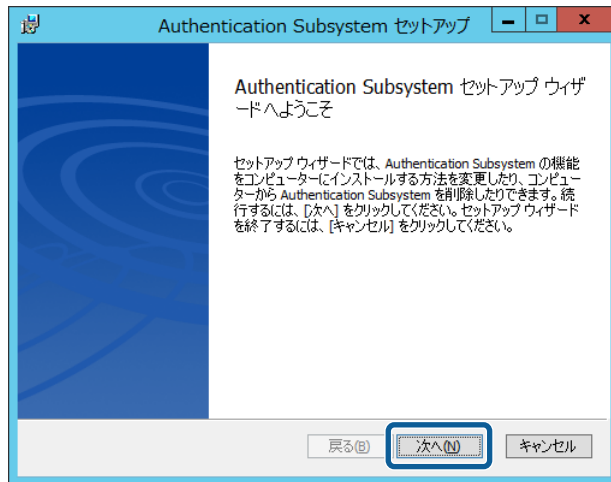
本システムが起動しない、動作が不安定などの場合、修復インストールで修復できる場合があります。修復インストールは、本システムの設定情報、登録情報を残したまま、システムファイルを上書きします。

1. 管理者でDocument Capture Pro Server AEホストコンピューターにログオンします。
2. [コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール] - [プログラムと機能] を開きます。
3. [Authentication Subsystem] を選択して、[アンインストール] をクリックします。

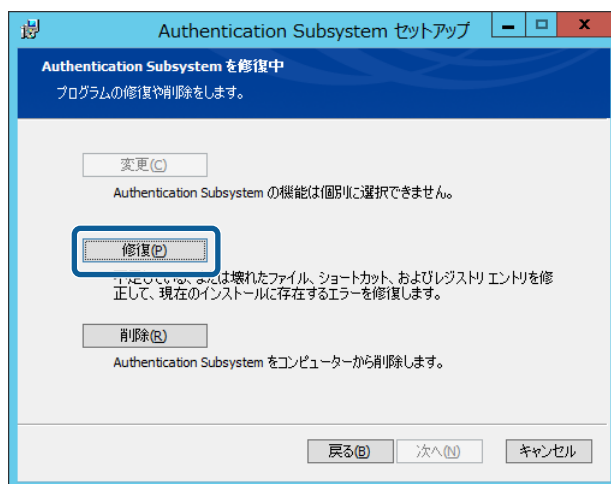


困ったときは

4. 画面の手順に従って操作を進めます。
5. 以下の画面で「次へ」をクリックします。



6. 「修復」をクリックします。



7. 「修復」をクリックします。



8. 「閉じる」をクリックします。
9. 再起動を要求された場合は、サーバーを再起動します。

ジョブをリストアしたらユーザーや所属との関連が解除された

スキャナーのジョブだけリストアしていませんか？

ジョブとユーザーや所属を関連付けてリストアするには、設定ファイルやデータベースも一緒にリストアする必要があります。ジョブだけリストアした場合はジョブに関連付いていたユーザーや所属の情報は復元されません。

デバイスの操作パネルでジョブが表示されない

以下を確認してください。

- **Document Capture Pro Server AEで使用するポートが開放されているか**
操作パネルのジョブ表示は、デバイスとDocument Capture Pro Server AEがインストールされているサーバーがジョブ情報を通信することによって実現します。ジョブ情報の通信に使用するポート2968番が開放されているか確認してください。
- **ファイアウォールでジョブ情報の通信をブロックしていないか**
Document Capture Pro Server AEがインストールされているサーバーとは別のファイアウォールを使用している場合、サーバーからの応答に動的ポートが使用される場合があります。ファイアウォールで動的ポートを通過できるようにするか、サーバーで設定したポート2968番だけを使用するようにしてください。
- **NAT (Network Address Translation) 機能に対応したルーターが使われていないか**
NAT機能のルーターには対応していません。ルーターを経由しない経路で通信できるようにしてください。
ジョブ情報の応答にはDocument Capture Pro Server AEがインストールされているサーバーのIPアドレスが使われます。デバイスとサーバーの通信でNAT機能対応のルーターを経由していると、サーバーのIPアドレスを追従できないためジョブ情報を取得できません。

操作パネルにジョブが表示されるのに時間がかかる

- **Document Capture Pro Server AEがインストールされているサーバーが複数のネットワークインターフェイスを搭載している**
サーバーに複数のネットワークインタフェイスが搭載されている場合、通信できないネットワークインターフェイスとの通信がタイムアウトされるまでサーバーからの応答が行われません。ネットワークメトリックの値を変更して、デバイスとの通信に使われている側が優先されるようにしてください。

ネットワークインターフェイスのメトリック値の確認

PowerShellを使ってネットワークインターフェイスのメトリック値を確認する方法を紹介します。ここではWindows Server 2019を例に説明します。

複数のネットワークインターフェイスが同一のコンピュータで有効になっている場合、メトリック値が小さいネットワークインターフェイスが優先して通信に使用されます。

1. スタートメニューを右クリックし、[Windows PowerShell] を選択します。

2. コマンドラインで [Get-NetIPAddress] とタイプし、リターンキーを押します。

ネットワークインターフェイスのアドレスの情報が表示されます。

[IPAddress] からネットワークインターフェイスを特定でき、[InterfaceAlias] からそのネットワークインターフェイスのアダプター名を確認できます。

3. コマンドラインで [Get-NetIPInterface] とタイプし、リターンキーを押します。

ネットワークインターフェイスの情報が表示されます。

[InterfaceAlias] からアダプターを探します。その行の [InterfaceMetric] にある値がネットワークインターフェイスのメトリック値です。

ネットワーク メトリック値の変更方法 (Windows)

ネットワーク メトリックの値を変更してネットワークインターフェイスの優先度を変更します。ここではWindows Server 2019を例に説明します。

1. コントロール パネル> [ネットワークとインターネット] > [ネットワークと共有センター] から [アダプターの設定の変更] をクリックします。

2. ネットワークメトリックを変更するアダプターのアイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択します。

3. [インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)] (IPv6の場合は[インターネットプロトコルバージョン6 (TCP/IPv6)]) を選択し、[プロパティ] をクリックします。

4. [詳細設定] をクリックします。

[TCP/IP詳細設定] 画面が表示されます。

5. [IP設定] タブ (IPv6の場合は[全般] タブ) の [自動メトリック] のチェックを外します。

6. [インターフェイス メトリック] にメトリック値を半角数字で設定し、[OK]、[閉じる] をクリックして画面を閉じます。

7. 他のネットワークアダプターも同様に設定します。

優先度の高いネットワークインターフェイスに、優先度の低いネットワークインターフェイスより小さい値を設定します。

パネルメッセージ

Webページの表示エラー以外に、以下のメッセージが表示されることがあります。

メッセージ	原因	対処方法
登録されていない認証カードです。管理者に認証カードの登録を依頼してください。（エラー番号：XX）	IDカードが登録されていません。 （管理者ページの[システム設定] - [基本設定] - [ユーザーによるカード登録を許可する] にチェックが付いていない場合）	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーのカード登録を許可してください。 管理者ページの[ユーザー] - [ユーザー一覧] - [基本情報] からユーザーのIDカードを登録してください。
無効な認証です。やり直してください。（エラー番号：XX）	登録しているユーザーの認証情報が一致しません。	[ユーザーID] や [パスワード]、[ID番号] が正しいか確認してください。
テンポラリー認証カードは追加登録できません。（エラー番号：XX）	テンポラリーカードの期限が切れていません。	<ul style="list-style-type: none"> テンポラリーカードIDを消去してください。 テンポラリーカードの期限が切れるまで待ってください。
サーバー側でシステムエラーが発生しています。管理者にお問い合わせください。（エラー番号：XX）	サーバーのデータベース接続やデータベースの読み書きに失敗しました。	エラーが回復しない場合は、DBのリストアを行ってください。それでも回復しない場合は販売店へお尋ねください。
サーバーとの通信に失敗しました。ネットワーク接続状態を確認してください。	デバイスとサーバーで通信エラーが起きている可能性があります。 また、通信トークンが一致していない場合も表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> デバイスがネットワークにつながっているか Document Capture Pro Server AEホストコンピューターの電源が入っていて正常に動作しているか ダッシュボードにエラー表示がある場合は、エラー内容に従って対応してください。
クライアントモードのためスキャンできません。サーバーモードに切り替えてください。	デバイスの[動作モード] 設定が[クライアントモード] になっています。	<ul style="list-style-type: none"> 以下のいずれかの方法で[サーバーモード] に切り替えてください。 <ul style="list-style-type: none"> スキャナーの操作パネルから[設定] - [Document Capture Pro設定] の順に選択する Web Configから[利用サービス] - [Document Capture Pro] の順に選択する 本システムの管理者ページで[デバイス管理] からデバイスを選択し、[送信] をクリックしてデバイスに設定情報を送信してください。
サーバーの認証設定ができていません。管理者にお問い合わせください。	Document Capture Pro Server AE上でデバイスの登録や設定が完了していません。	本システムの管理者ページの[デバイス管理]からデバイスの設定を完了してください。

困ったときは

メッセージ	原因	対処方法
Document Capture Pro Serverのアドレスが間違っています。正しいアドレスを入力してください。	デバイスを登録したDocument Capture Pro Server AEのアドレスを変更しました。またはデバイスの登録が削除されています。	<ul style="list-style-type: none"> 以下のいずれかの方法で、Document Capture Pro Server AEホストコンピュータのアドレスを設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> スキャナーの操作パネルから 〔設定〕 - 〔Document Capture Pro設定〕の順に選択する Web Configから〔利用サービス〕 - 〔Document Capture Pro〕の順に選択する 本システムの管理者ページの〔デバイス管理〕からデバイスを登録してください。 本システムの管理者ページで〔デバイス管理〕からデバイスを選択し、〔送信〕をクリックしてデバイスに設定情報を送信してください。

付録

カードリーダーの対応状況

Yes：対応（カードリーダーの標準設定で、認証カードシリアル番号の読み取りが可能）

No：非対応

メーカー	モデル名	型番	認証カード					対応モード
			HID Global	MIFARE		FeliCa™		
			iClass	Classic	Ultralight	Standard	Lite	
Sony	PaSoRi	RC-S380/S	No	Yes	Yes	Yes	Yes	PaSoRi

インストールされる [役割] と [機能]

本システムではWindowsに以下の [役割] と [機能] がインストールされます。

- 役割の概要：Web サーバー (IIS)
- 機能の概要：デスクトップ エクスペリエンス

△ 注意 デスクトップ エクスペリエンスをインストールする場合は、コンピューターの再起動が必要です。

使用するポート

送信元 (クライアント)	送信先 (サーバー)	プロトコル	ポート	用途
クライアントコンピュータ (ブラウザー)	Document Capture Pro Server AEホスト コンピュータ	HTTP (TCP) HTTPS (TCP)	80*1 443*1*3	ユーザー、管理者ページ表示
Document Capture Pro Server AEホスト コンピュータ	デバイス	HTTPS (TCP)	443	認証、利用履歴取得、利用制限設定

付録

送信元 (クライアント)	送信先 (サーバー)	プロトコル	ポート	用途
Document Capture Pro Server AEホスト コンピューター	デバイス	SNMP (UDP)	161	デバイス探索、デバイス情報取得
デバイス	Document Capture Pro Server AEホスト コンピューター	HTTPS (TCP)	443*2	デバイスパネル表示
Document Capture Pro Server AEホスト コンピューター	SQL Server	SQL (TCP) SQL (UDP)	1433 1434	SQLサーバー接続
Document Capture Pro Server AEホスト コンピューター	LDAPサーバー	LDAP (TCP) LDAP (TCP)	389*4 636*3*4	ユーザー情報取得
Document Capture Pro Server AEホスト コンピューター	SMTPサーバー	SMTP (TCP) SMTP (TCP)	25*5 465*3*5	メール送信
Document Capture Pro Server AEホスト コンピューター	POPサーバー	POP (TCP) POP (TCP)	110*5 995*3*5	POP before SMTP接続
Document Capture Pro Server AEホスト コンピューター	デバイス	エプソン独自 (TCP)	1865	スキャンデータ、ジョブ情報
Document Capture Pro Server AEホスト コンピューター	デバイス	エプソン独自 (UDP)	2968	コンピュータの情報取得応答
デバイス	Document Capture Pro Server AEホスト コンピューター	エプソン独自 (UDP)	2968	コンピュータの情報取得要求
Document Capture Pro Server AEホスト コンピューター	デバイス	エプソン独自 (TCP)	2968	ジョブ情報

送信元 (クライアント)	送信先 (サーバー)	プロトコル	ポート	用途
デバイス	Document Capture Pro Server AEホスト コンピューター	エプソン独自 (TCP)	2968	ジョブ情報

- *1 : メーカー設定のポート番号です。実際に利用するポート番号は認証システムのユーザー用URLに設定されています。
- *2 : メーカー設定のポート番号です。実際に利用するポート番号は認証システムのプリンターパネル用URL設定に設定されています。
- *3 : 暗号化している時のポート番号です。
- *4 : メーカー設定のポート番号です。ポート番号を変更して運用している場合は、認証システムのLDAPサーバー設定に、実際に利用しているポート番号を設定します。
- *5 : メーカー設定のポート番号です。ポート番号を変更して運用している場合は、認証システムのSMTPサーバー設定に、実際に利用しているポート番号を設定します。

Windowsサービス、実行ファイル

Document Capture Pro Server AEでは以下のWindowsサービス、実行ファイルが起動します。

Windowsサービス

分類	Name	Startup Type	LogOnAs
DCPSサービス	Document Capture Pro Application Service	自動起動	Network Service
	DCPSNWSERVICE	自動起動	Network Service
認証システムサービス	Authentication Sub Sytem Device Service	自動起動	Local Sytem
	Authentication Sub Sytem Notification Receiver Service	自動起動	Local Sytem
	Authentication Sub Sytem Scheduler Service	自動起動	Local Sytem
	Authentication Sub Sytem Dcps Receiver Service	自動起動	Local Sytem

実行ファイル

分類	Name
スキャン時に実行	JobRunner.exe
	ProjectRunner.exe

Document Capture Pro Server AEの作業フォルダー

Document Capture Pro Server AEの作業フォルダーです。アンチウィルスソフトのスキャンで動作が遅くなる場合は、以下のフォルダーを除外すると改善する場合があります。

フォルダー	説明
C:\ProgramData\EPSON\DCPS\	データ格納先、一時作業領域、ログ格納領域
C:\Windows\ServiceProfiles\NetworkService\AppData\Roaming\Epson\Document Capture\	一時作業領域
C:\Windows\ServiceProfiles\NetworkService\AppData\Roaming\Epson\Epson Scan 2\	スキャナードライバー（Epson Scan 2）のデータ格納領域
C:\Windows\ServiceProfiles\NetworkService\AppData\Local\Temp\ES2WorkTemp\	スキャナードライバー（Epson Scan 2）の一時作業領域
C:\Windows\ServiceProfiles\NetworkService\AppData\Roaming\Epson\ESCNDV\	スキャナードライバー（Epson Scan）のデータ格納領域
C:\Windows\ServiceProfiles\NetworkService\AppData\Local\Temp\EPSONWorkTemp\	スキャナードライバー（Epson Scan）の一時作業領域

商標など

- EPSON およびEXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- Safari は米国およびその他の国で登録されたApple Inc. の商標です。
- そのほかの製品名は各社の商標または登録商標です。

© 2021 Seiko Epson Corporation.

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。

付録

- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がございましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適當に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。